

渡邊先生遺稿

新裁縫教科書

卷之一



© Kodak, 2007 TM: Kodak

故東京裁縫  
女學校ニ長

渡邊辰五郎先生遺稿

# 新裁縫教科書

東京裁縫女學校出版部

## 緒言

曩に亡父が裁縫教科書の編纂ありてより、茲に十有餘年、其間本邦に於ける女子教育は、著しき發達を成し、就中裁縫は、女子技藝中の必須科と目せられて、其進歩實に眉を動かすべきものあり、抑も父は始めて裁縫教科書を公にし、聊か我女藝界に貢獻する所ありたるは、今や漸く世人の認むる所となれり、然るに聖代の文明に連れて、裁縫の技術も大に進み、其後裁ち方積り方及び教授法等に於ても、改良を加へたるもの少からず、父は常に繁雜を避け簡便を欲して、朝

に思ひ夕に慮りつゝ、本書の編纂に従事するや、年久きに及べり、而して未だ稿を完うせずして溘焉他界の客となれり、然るに姉と余とは、豫て此著述を助けつゝありし故を以て、俱に共に其遺志を継ぎ専心此事に當りしと雖も、猶ほ盡さざる所多からんことを懼る、讀者幸に之を諒せよ、

明治四十一年三月

東京裁縫女學校圖書室に於て

渡邊

滋  
しるす

渡邊先  
生遺稿 **新裁縫教科書** 卷之一

目次

裁縫に必要な器具	一
篋、鎧及火熨斗の使用法	三
衣服各部の名稱	五
針の持方及運針	七
各種縫方	九
袷先を額縁になす折の附方及縫方	二
袖形の縫方	三
袷形の縫方	三
衣服の解方	五
男服絲の極め所	五

女服糸の極め所	一六
袖口布の懸方	一六
袖口綿の縊方	一九
懸繼の仕方	一九
一つ身襦袢を仕立つる寸法	二〇
一つ身襦袢の縫方	二〇
三つ身襦袢を仕立つる寸法	二二
三つ身襦袢の縫方	二三
四つ身襦袢を仕立つる寸法	二三
四つ身襦袢の縫方	二三
一つ身襦袢の裁方及積方	二三
大ふりの一つ身襦袢の裁方及積方	二三

三つ身襦袢の裁方及積方	二三
大ふりの三つ身襦袢の裁方及積方	二五
四つ身襦袢の裁方及積方	二六
筒袖を仕立つる寸法	二七
一つ身三つ身本裁襦袢の仕立上の圖	二八
衣服寸法表	二九
男襦袢を仕立つる寸法	三〇
本裁男襦袢の裁方及積方	三〇
本裁單襦袢の裁方	三三
男襦袢二枚を裁つ時の用布を求むる法	三三
幅一尺三寸の布にて男襦袢の裁方及積方	三三
標襦袢を仕立つる寸法	三五

標袴纏の縫方……………	三五
標袴纏の裁方及積方……………	三七
鯉口袴纏の裁方及積方……………	三八
子守袴纏の裁方及積方……………	三九
子守袴纏裏の裁方及積方……………	四〇
女長袴袴の裁方及積方……………	四二
幅一尺三寸の布にて女長袴袴の裁方及積方……………	四三
幅一尺七寸の布にて女長袴袴の裁方及積方……………	四三
長袴袴の縫方……………	四三
一つ身を仕立つる寸法……………	四五
一つ身単衣の縫方……………	四五
一つ身の裁方及積方(二)……………	四七

一つ身裕の縫方……………	四八
一つ身の裁方及積方(三)……………	五〇
一つ身裏の裁方及積方……………	五一
一つ身別衽の裁方及積方……………	五二
一つ身筒袖の裁方及積方……………	五三
幅二尺の布にて一つ身の裁方及積方……………	五五
幅一尺三寸の布にて一つ身の裁方及積方……………	五五
二つ身の裁方及積方……………	五七
一つ身三枚の裁合方及積方……………	五七
一つ身の裁方及積方(三)……………	五八
一つ身の裁方及積方(四)……………	五八
幅一尺二寸の布にて一つ身の裁方及積方……………	五九

幅一尺三寸の布にて一つ身の裁方及積方	五九
幅一尺一寸の布にて一つ身の裁方及積方	六〇
一つ身綿入の縫方	六〇
一つ身綿入の綿の入方	六三
一つ身綿入の紵方	六三
三つ身を仕立つる寸法	六四
三つ身単衣の縫方	六五
三つ身袷の縫方	六五
三つ身綿入の縫方	六七
三つ身綿入の綿の入方	七〇
三つ身綿入の紵方	七一
三つ身筒袖の裁方及積方	七一

三つ身の裁方及積方	七二
幅一尺二寸の片面物を以て三つ身の裁方及積方	七三
幅一尺五分の片面物にて三つ身二枚の裁方及積方	七四
常幅一反にて三つ身一枚一つ身一枚五六歳の子供の シャツ一枚の裁方及積方	七五
幅二尺の片面物にて三つ身の裁方及積方 (二)	七六
幅二尺の両面物にて三つ身の裁方及積方	七六
幅二尺の片面物にて三つ身の裁方及積方 (三)	七七
片面物にて三つ身の裁方及積方(但し前繼)	七七
幅一尺二寸の布にて三つ身の裁方及積方	七八
幅一尺一寸の布にて三つ身の裁方及積方	七八
幅二尺五寸の布にて三つ身の裁方及積方	七九

幅一尺三寸の片面物にて三つ身の裁方及積方……………八七  
 幅一尺三寸の片面物にて三つ身の裁方及積方……………八〇  
 四つ身を仕立つる寸法……………八〇  
 四つ身の裁方及積方……………八〇  
 四つ身衽印の附方……………八一  
 四つ身車裁の裁方及積方……………八二  
 四つ身逆衽の裁方及積方……………八三  
 幅一尺三寸五分の布にて四つ身の裁方及積方……………八三  
 幅一尺七寸の布にて四つ身の裁方及積方……………八四  
 幅二尺七寸の布にて四つ身の裁方及積方……………八四  
 幅二尺の片面物を以て四つ身の裁方及積方……………八六  
 別衽四つ身の裁方及積方……………八六

幅一尺三寸の片面物にて中裁振袖の裁方及積方……………八七  
 幅一尺六寸の片面物にて四つ身の裁方及積方……………八八  
 幅二尺の布にて四つ身の裁方及積方……………八八  
 前襟裁の裁方及積方……………八九  
 男衽纏を仕立つる寸法……………九〇  
 女衽纏を仕立つる寸法……………九〇  
 男綿入衽纏の縫方……………九一  
 男綿入衽纏の綿の入方……………九二  
 男綿入衽纏の紵方……………九三  
 女綿入衽纏の縫方及紵方……………九四  
 男衽纏表の裁方及積方……………九四  
 女衽纏表の裁方及積方……………九五

女裵纏裏地の裁方及積方……………九六  
 子守裵纏……………九七  
 男服を仕立つる寸法……………九七  
 女服を仕立つる寸法……………九八  
 男服綿入重ねの下着をつめる寸法……………九八  
 女服綿入重ねの下着をつめる寸法……………九九  
 男服棒衿の裁方及積方(二)……………一〇〇  
 女服棒衿の裁方及積方……………一〇一  
 本裁男単衣の縫方……………一〇二  
 本裁女単衣の縫方……………一〇四  
 本裁女衿の縫方……………一〇五  
 男服衿の縫方……………一〇六

女服口綿入の縫方……………一〇七  
 男服口綿入の縫方……………一〇八  
 男服棒衿の裁方及積方(三)……………一〇九  
 女服鈎衿の裁方及積方……………一〇九  
 男服鈎衿の裁方及積方……………一一〇  
 男服棒衿の裁方及積方(三)……………一一二  
 衿先継ぎ棒衿女服の裁方及積方(二)……………一一三  
 幅二尺四寸の布にて男服の裁方及積方……………一一四  
 幅一尺九寸の布にて女服の裁方及積方……………一一五  
 五丈五尺の布にて鈎衿女服二枚の裁方及積方……………一一六  
 男服綿入標の附方……………一一七  
 女服標の附方……………一一九



男服綿入の縫方	110
男服綿入の綿の入方	111
男服綿入の紵方	113
女服綿入やつ口の縫方	114
女服綿入の綿の入方	114
女服綿入の紵方	115
男服棒衿の裁方及積方	115
女服表地の裁方及積方(但鈎衿)	115
衿先継ぎ女服棒衿の裁方及積方	116
衣服裏地の裁方及積方	117
衣服裏地の裁方及積方	119
裾廻の裁方及積方	119

裾廻の裁方及積方	119
幅一尺二寸五分の布にて裾廻裁方及積方	120
幅一尺一寸の片面物にて女服無垢一枚と三つ身被布一枚の裁合方及積方	120
幅一尺二寸の布にて女服引返しの裁方及積方	120
幅一尺三寸の布にて女服引返しの裁方及積方	121
幅一尺七寸の布にて女服表の裁方及積方	121
衿先なし女服の裁方及積方	123
幅一尺三寸の布にて車裁裾廻の裁方及積方	123
幅一尺二寸の布にてチギリ裁裾廻の裁方及積方	124
茶湯帛紗の寸法	125
幅一尺二寸の布にて裾廻の裁方及積方	125

幅一尺七寸の大幅縮緬を以て裾廻の裁方及積方……………一三五  
 片面物を以て女服の裁方及積方(但衿繼)……………一三六  
 西洋形涎懸の裁方……………一三七  
 西洋形涎懸の縫方……………一三七  
 簡單なる西洋形涎懸の縫方……………一三七  
 涎懸の地質……………一三八  
 涎懸數種……………一三八  
 日本形涎懸の縫方……………一四〇  
 西洋形涎懸の縫方……………一四〇  
 大黒帽子の日覆……………一四七  
 早通頭巾……………一四七  
 二三歳の雪帽子の裁方……………一四七

雪帽子飾布の裁方……………一四八

雪帽子の縫方……………一四八

小兒の夏帽子の裁方……………一五〇

小兒の夏帽子の縫方……………一五〇

幅一尺の布にて二三歳の夏帽子の裁方及縫方……………一五三

幅二尺の布にて一二歳の夏帽子の裁方及縫方……………一五五

幅一尺四寸の布にて梅形夏帽子の裁方及縫方……………一五七

幅二尺の布にて小兒夏帽子の裁方及縫方……………一六〇

幅一尺四寸の布にて籐入帽子の裁方及縫方……………一六二

日除頭巾の裁方……………一六四

船底頭巾の裁方及縫方……………一六四

大黒頭巾の裁方及縫方……………一六五

宗十郎頭巾の裁方……………一六五

赤子の夏帽子の裁方及縫方……………一六七

女合羽……………一六八

昔風の女合羽の裁方及積方……………一六九

普通仕立上げ寸法……………一七〇

標の附方……………一七一

単衣合羽の縫方……………一七二

被布仕立女単衣合羽の裁方及積方(二)……………一七三

裁切寸法……………一七四

普通仕立上げ寸法……………一七四

標の附方……………一七六

縫方……………一七七

女合羽の裁方及積方……………一七九

被布仕立女単合羽の裁方及積方……………一八〇

前記と同じ寸法にて用布不足の時の裁方及積方……………一八二

十六七歳の女合羽出来上り寸法……………一八二

単被布の裁方及積方……………一八二

單被布を仕立つる寸法……………一八三

單被布の縫方……………一八四

女衿被布の縫方……………一八五

綿入被布の縫方……………一八六

○裁縫に必要な器具。

裁縫に必要な器具は、裁板、針箱、尺度、篋、鏝、火熨斗、裁庖丁、鋏、絲卷、袖形、裙形、指環、針、紵臺、アイヨン等なり。

裁板は柳、銀杏、朴、桂等にして、幅一尺二三寸、丈三尺より四五尺、厚さ二寸以上、三四寸位なるをよしとす。

針箱は、五六寸の箱をよしとす。

尺度に曲尺、吳服尺、鯨尺、インチ尺、メートル尺、雛形尺、文尺等あれども、和服裁縫には多く鯨尺を用ふ。鯨尺一尺は曲尺一尺二寸五分に當り、吳服尺一尺は曲尺一尺二寸に當り、一インチは鯨尺の六分七厘に當り、メートル尺の一目(一センチメートル)は鯨尺

の二分六厘に當り、雛形尺は、半紙半幅を木綿幅と看做して製せし物にして、鯨尺三寸五分を一尺となす、これは明治七八年ごろ余故渡邊先生の工夫せし尺度にして、半紙二枚を以て一、身一枚を裁縫する事を得、三、身は三枚を要し、四、身は四枚を要し、本裁は六枚を以て裁縫する事を得るなり、文尺は足袋屋の使用する尺度にして、一文は鯨尺の六分四厘に當る、此尺度は文錢の直徑を單位として製せしものなりと云ふ。

鑊は三、寸内外のものを良しとす。

火熨斗は口の直徑曲尺の五寸内外にして、開きたるをよしとす。

裁庖丁は、小形、中形、大形とあり。

鋏は、羅紗鋏と普通の日本鋏とあり。

絲卷は、二三寸方形のものを良しとす。

袖形は、三分より、一寸位迄とす。

裙形は、一分五厘より、二寸位までとす。

指環は、皮、或は眞綿、眞鍮、鐵等にて製したるをよしとす。針は、その人の指の長さに合わせて求むるものなれども、木綿物を縫、紵するには三の三、三の四、三の五等を用ひ、絹物を縫紵するには、四の三、四の四等を用ふ。その他、木綿を縫ふに、大ちやほ、中ちやほ、小ちやほあり、絹物の縫針は絹針、紵針等の各種あり、針を求むるときは、中指即ち指環の所に針の目所を當て、拇指と食指とにて針を撮み、食指を伸して、その長さだけの針を求むべし。然るときは、この針一本にて、縫、紵、躰等に至る迄、凡て出來得るものなり。

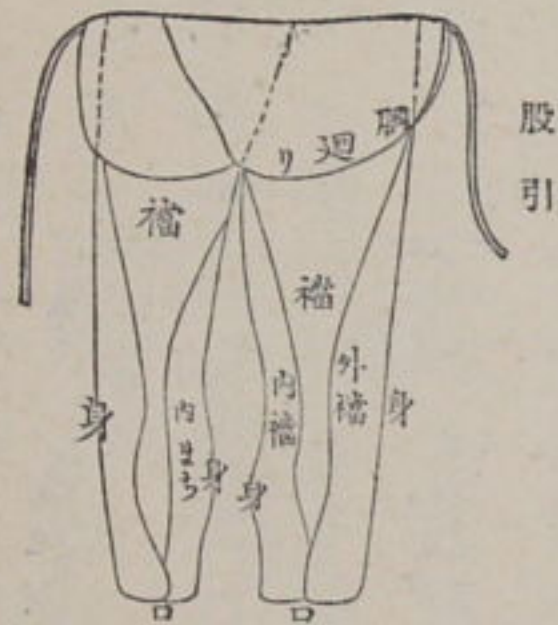
○鑊、鑊、及火熨斗の使用法。

衣各服部の名

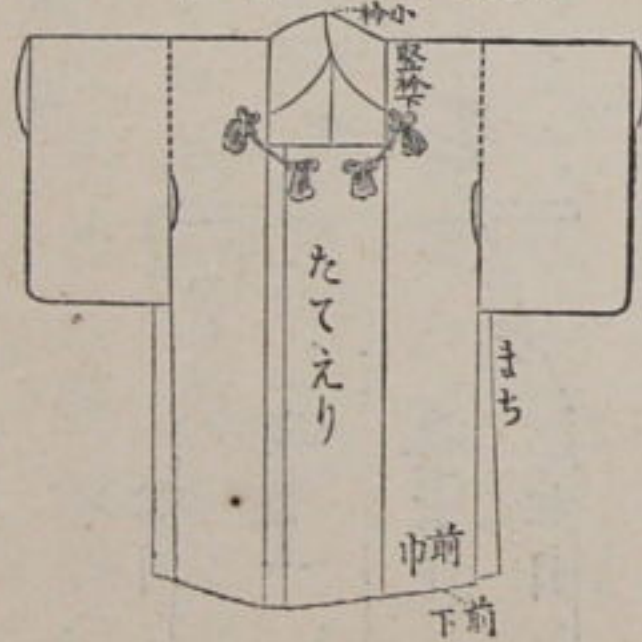
第三圖



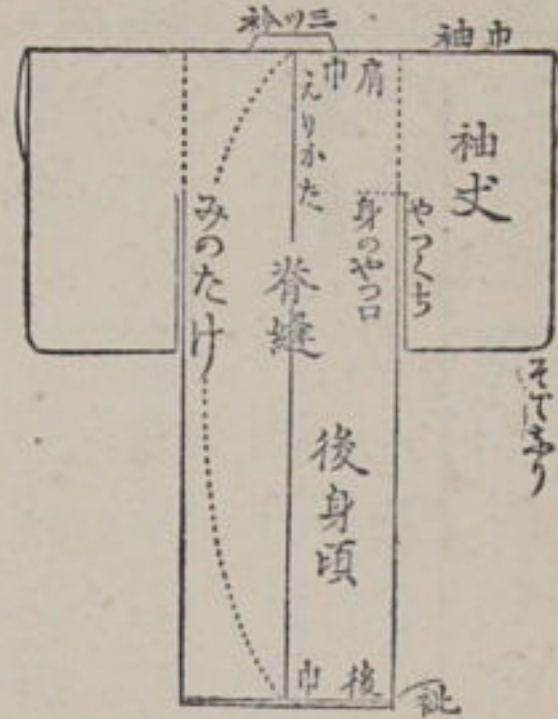
第四圖



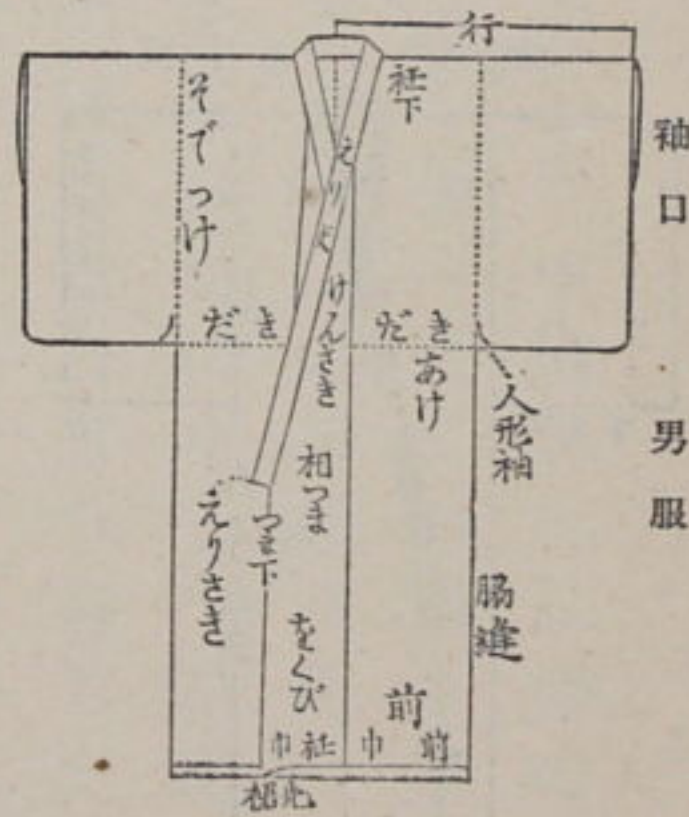
第五圖



第一圖



第二圖



籠は、竹、木、或は角等にて造りたるものを宜しとす。又之を用ふる前に先づ砥石にてよくその先を摺り、然る後用ふべし、かくせざれば切地を傷つくることあり。又堅き木の上にて、印を附くるときは、布に疵の附く事あれば、よく注意すべし。

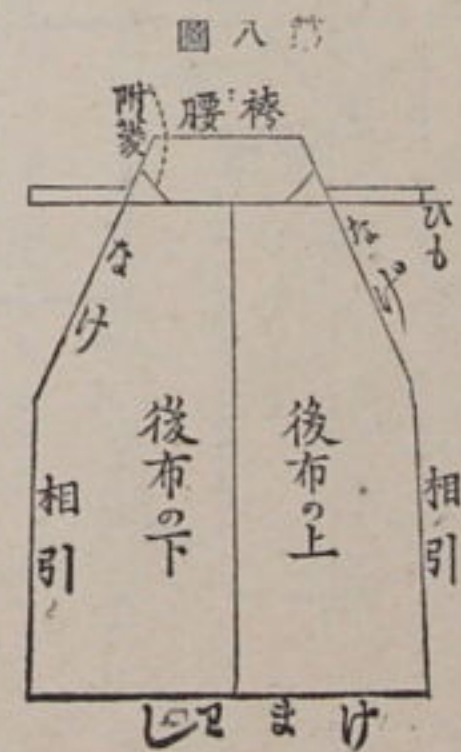
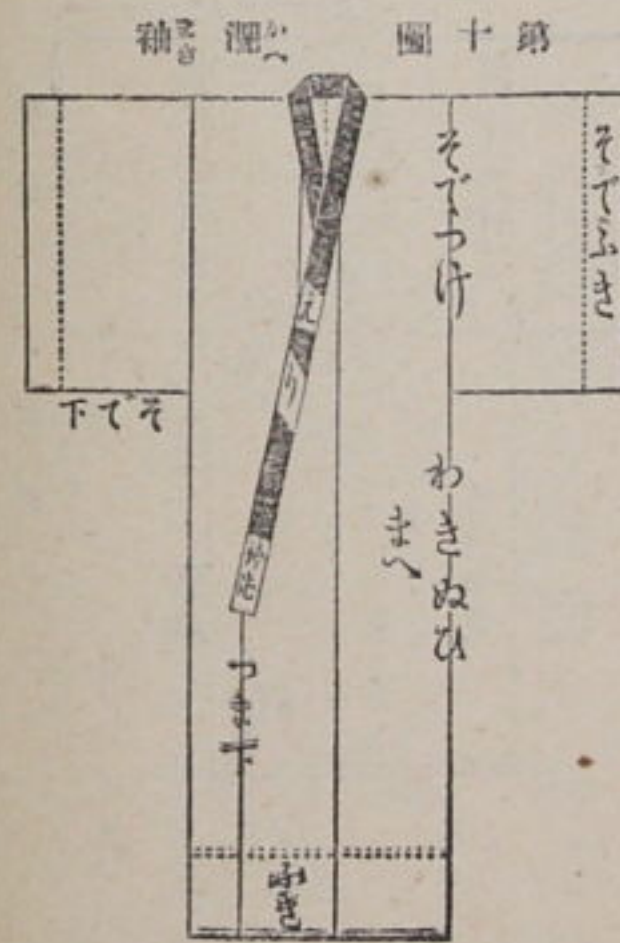
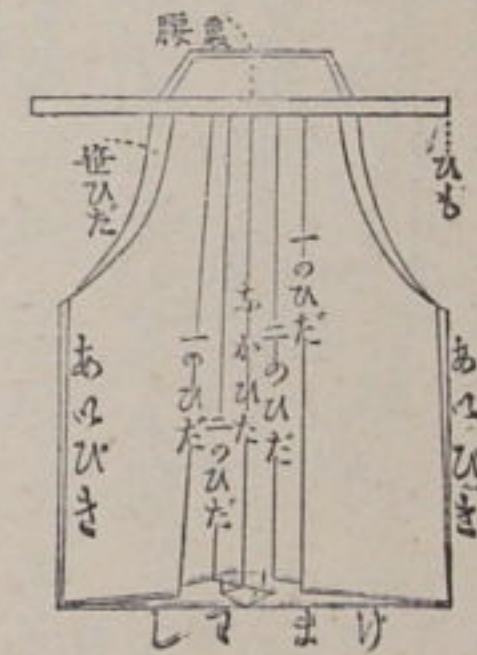
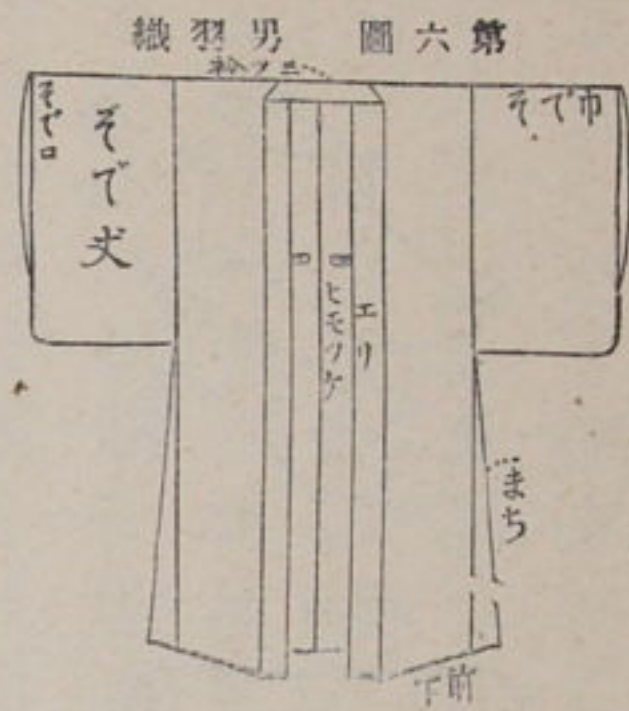
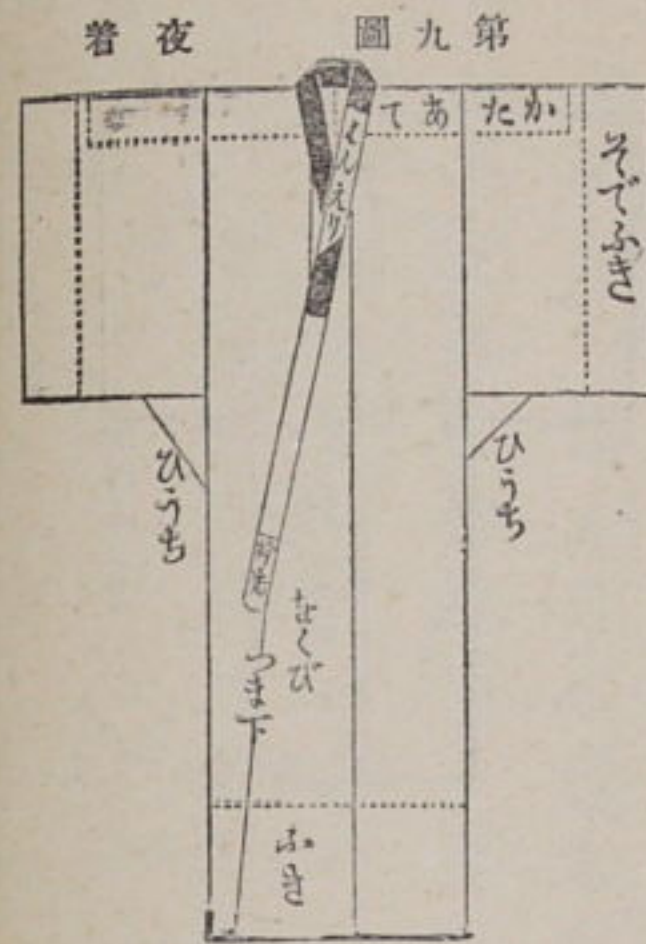
鑊は、衣服の縫目等を正しくする道具なれども、之を猥に用ふるときは切地を焦す事あり。故に用ふる前に、白紙に當て、その熱度を試み、然る後用ふべし。

火熨斗を用ふるには、火を豎に入れ、是れも最初白紙に當て、熱度を試み、然る後用ふべし。

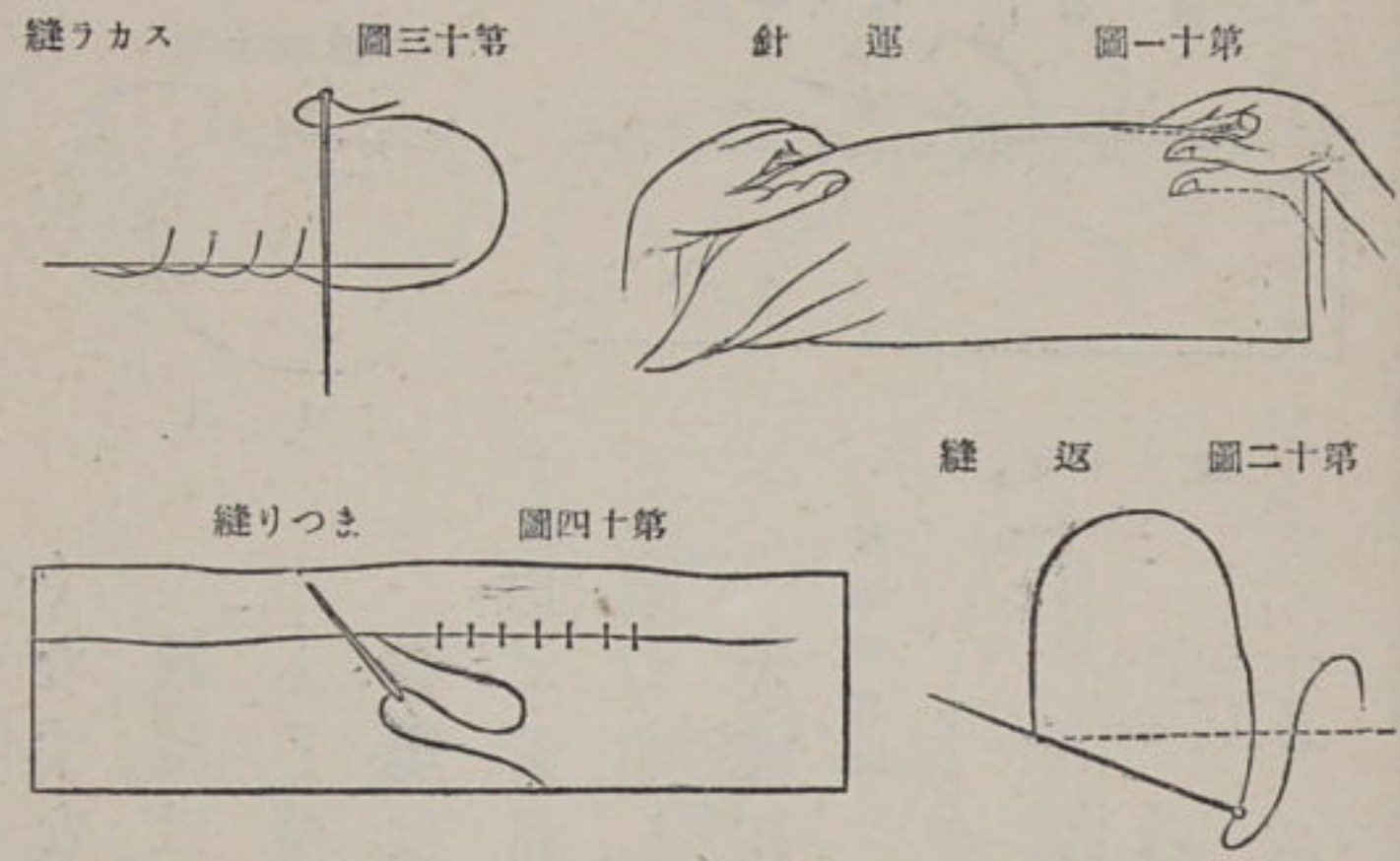
アイロン俗にアイロンと云ふ外部より炭火を以て焼くもの、炭火を以て内部より焼くもの、瓦斯を以て焼くもの、電氣を以て焼くもの等あり柄の固着したると取外し得るものとあり。

○針の持方、及運針。

針の持方、針の運び方は、先づ右手の中指の一二節の間に指環をはめ、拇指と食指との頭にて針を撮み、又その撮みし食指を布の右端の裏に、拇指を表に當て布、針、共に之を撮み、他の三指を握り、左手の拇指を布の表に、食指を布の裏になして、左端を撮み、他の三指は、握らずして、布を平にのばし、針と布を持ちたる右手の肩より上げ下げしながら右手の拇指、食指を互に左の方に進め、針を運び、左手の際まで縫ひ終らば、右の手にて能く糸を伸し、布の縮まぬ様になすべし、最初は布一重にて、白布ならば、白糸を以て縫ひ、針目の不揃等は意とせず、常に早縫の習慣を附くるを宜しとす、日々同じ事をなすは、面白からず。故に白布を縫ふに、或は赤、黒、等の色糸を以てし、紺色の布には、白或は其他の色糸を以て



するが如く、布と色の異りたる色糸にて縫ふときは、厭あきらの生ぜぬものなり。かくして漸次進むに随ひ、針目を二分位に揃へて縫ひ、稍ま慣るゝを待ち、布を二重になして、針目を一分五厘位に縫ひ、その次は三重、或は四重になして、針目を一分位に縫ふことを練習すべし。一度縫ひ了らば、其の糸を針の儘、布より抜き取り、又初めより縫ひ始め縫ひ了らば、又縫ひ、かくすること凡五十分間に、長さ一尺の切ならば、廿回以上、百回迄に至らしむべし。是れ運針は基本となるべきものなれば充分熟達するを要す。但縫方のよしあしを見んとするときは、縫ひたる糸を抜きさらず、其儘になし置くべし。又斜或は角、或は丸紐の縮方、袖形、裙形、袋縫、まつり縫、返縫、穴縫かいぎ、千鳥掛ちどりかけすから縫等を順次實習すべし。用布は木綿を以てし、縫ふべき形は、篋しほしにて標しほしを附くるか或は鉛筆を以て豫め下繪



針運 圖一十第  
 縫返 圖二十第  
 縫りつき 圖四十第  
 縫ラカス 圖三十第

を書き置くべし。

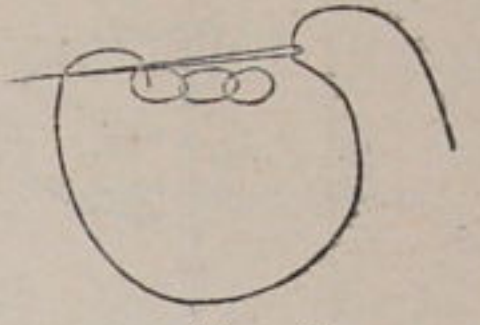
返縫は、一分先に出して、五厘後に返す。之を返縫と云ふ。上仕立の女帯、或は帛紗、羽織、フランネル、セール等の縫目を割るときに用ふる縫方なり。

スカラ縫は、二厘程先に出して、針の先に糸を環になして引き懸け、針を抜き出すなり。ハンカチーフ、及糠袋等を縫ふに用ふ。

眞都利縫は、表の方に針目を小さく出して針を懸け、他の一方を縫込の端の所に針を懸け第十四圖の如



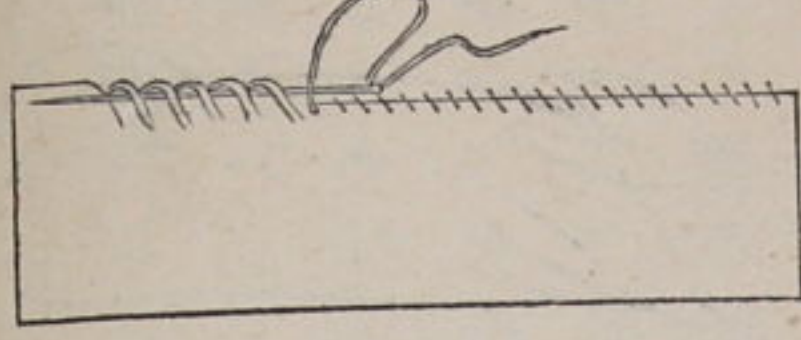
圖五十第



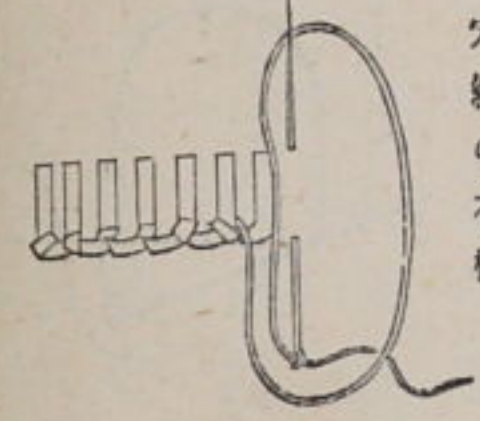
縫輪

くならずなり。  
 輪縫は、種々の模様を畫きて、縫をなすときに用ふる縫方なり、第十五圖を見るべし。  
 卷縫は、裁目のみたれぬ様、且さげざる様、襷絲を以て針目一二分位に縫ふなり。其の縫ひ方第十

縫卷 圖六十第



圖七十第



穴縫の有様

六圖の如し。  
 穴縫、初步の者は、色絲を以て、裁目より二厘程の深さに針を懸け、針元なる絲を針の先に輪になる様になし、自己の前方より、向ふに絲を掛けて、針を抜き出すなり。最初は凡一時間に三個位を作り得るに過ぎざれ

圖八十第  
り上來出

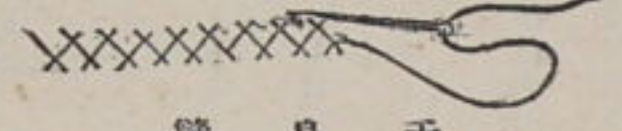
ど熟達するに従ひて七個以上を縫り得るなり。

圖九十第



縫有る結を紐

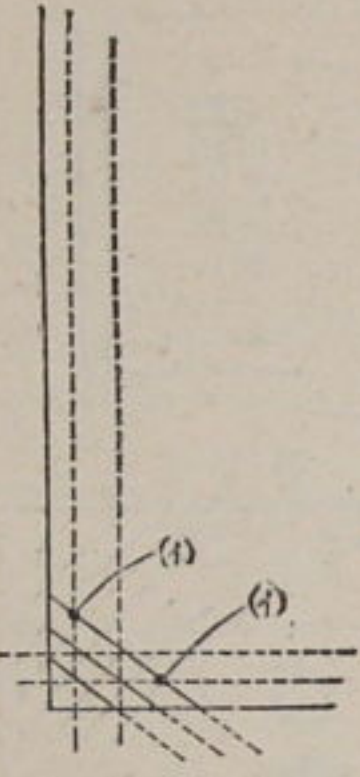
圖十二第



縫鳥

紐の紵方は、先づ切の幅を二つに折り、幅の印を付け、又其所に折を付け、兩端を縫ひ、其所に心を縫ひつけ、心は自己の向ふの方向にくるみて、襷を掛け、然る後之を紵あげ壓を置くなり。(第十九圖参照)

圖一十二等



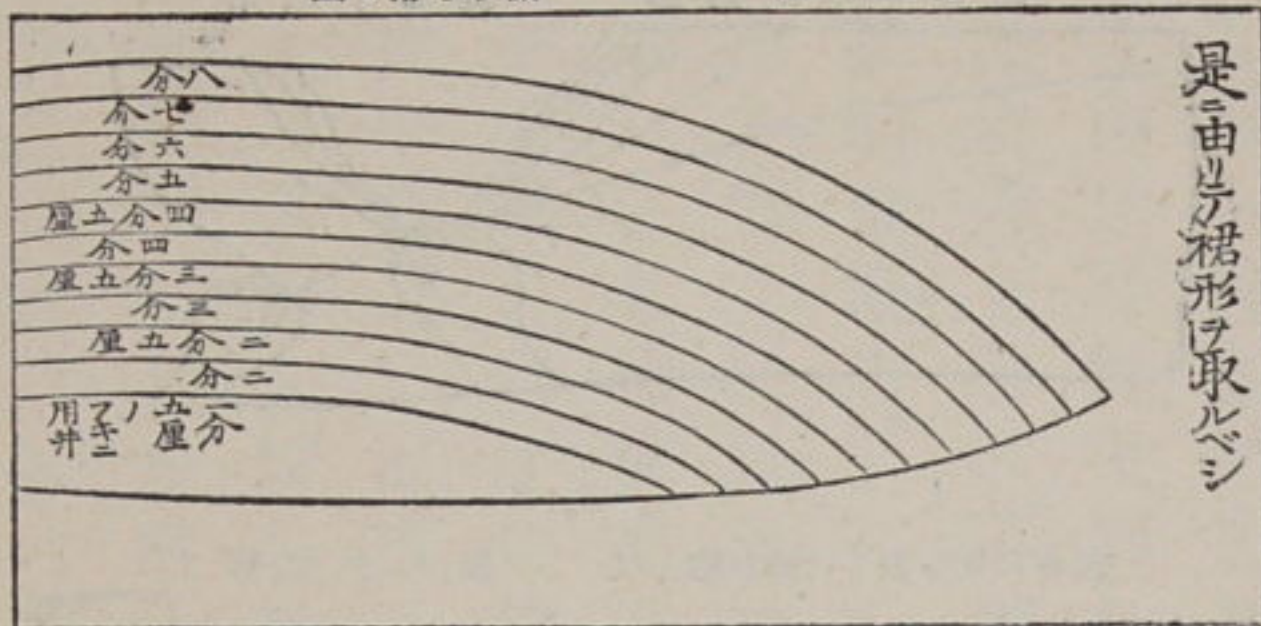
ナリメ三  
ナリメ四

ナリメ一  
ナリメ二  
ナリメ五  
ナリメ六  
ナリメ七

千鳥縫は、一方は、表の方に針目を極めて小さく出し、一分斜に針をかけ、又一方は、縫込の切の表の方に針目を出さぬ様、一分斜に針をかけ、絲の縮まぬ様になすなり。此縫方は、セル、フランネル等の單

圖る拵形裙

圖六十二第



是より裙形は取ルベシ

代だけ残し置き中の縫込は斜に切り取り縫目を割りて裙下と

裾口とを紵るなり(第廿二圖参照)

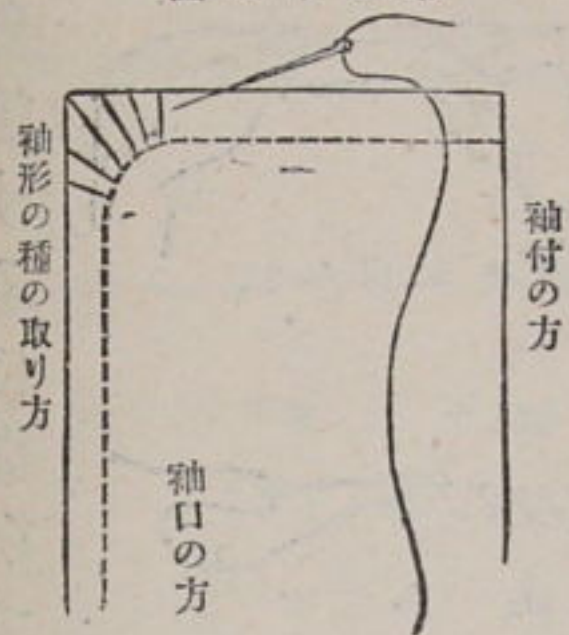
○袖形の縫方。

袖を縫ふには、袂に袖形を當て、篋を以て標を附け、其所は針目をこまかに縫ひ、袖口あきの所は、能く絲止をなし第二十四圖の如く袖形を作るに、五つ以上稜を取り、少々きせをかけて、折を附くるなり。

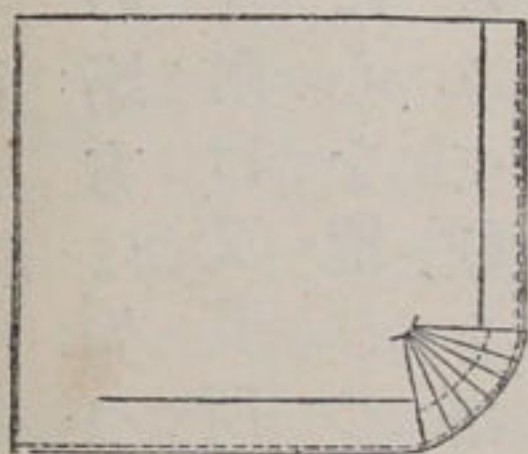
○裙形の縫方。

裙を縫ふには、先づ裙先の標の所より裙形を當て、篋を以て印を附け、其所を表衽の幅丈に裏の衽を縫ひ締め、裙先の方に斜に裏

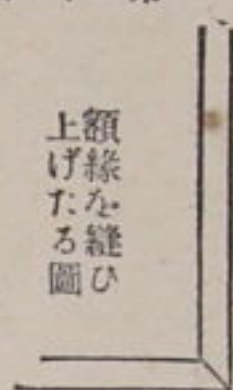
圖四十二第



圖五十二第  
袖形に稜に縫ひ取り  
るた見り

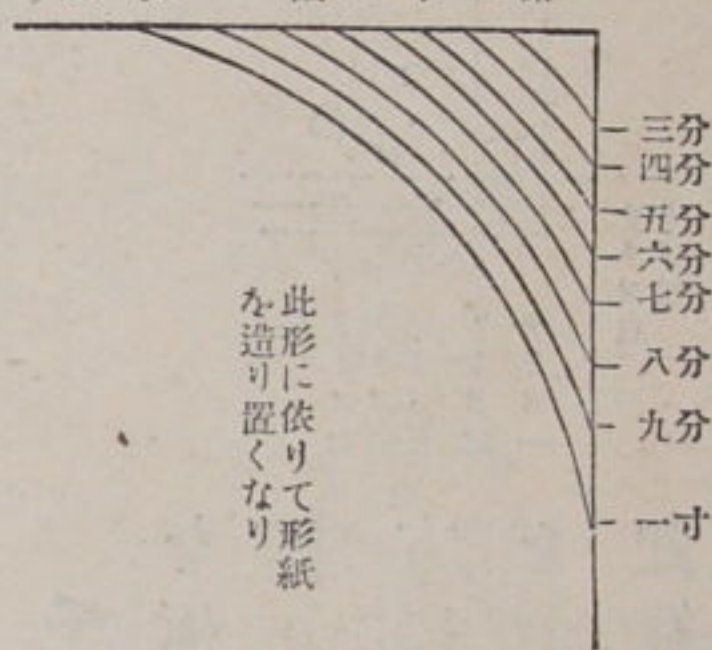


圖二十二第



上額縁を縫ひたる圖

形袂 圖三十二第



此形に依りて形紙を造り置くなり

物類の縫込の端の亂れぬ爲に用ふる者なり。其縫方は、第廿圖の如くすべし。

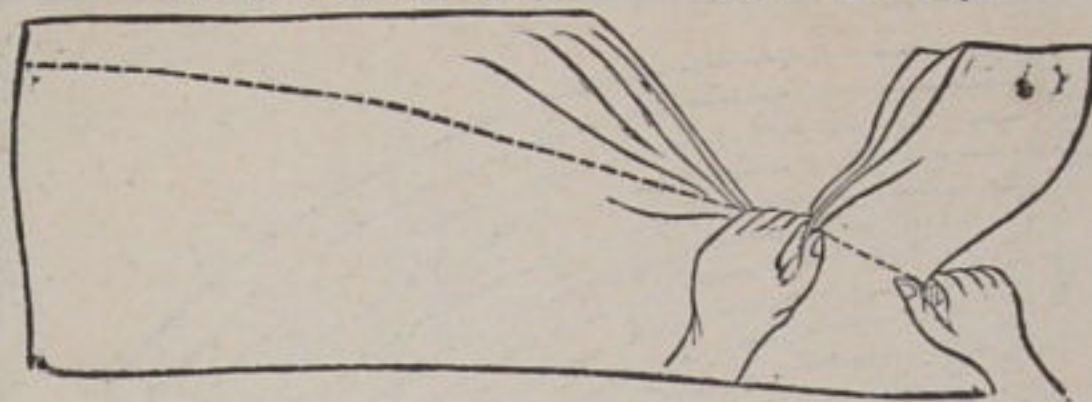
○裙先を額縁になす折の

附方及縫方。(但これは衽の

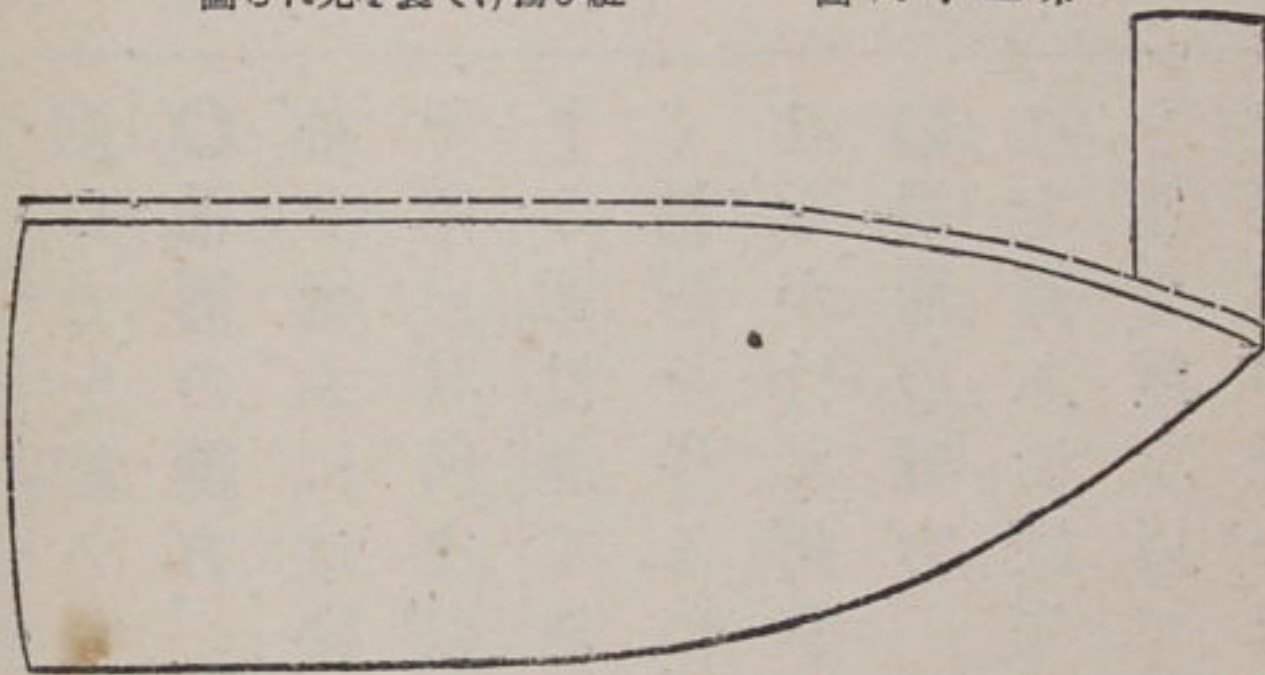
裙先にて、フランネル、セル又は地質の薄きものゝときの仕立方な

り。縫方は第二十一圖中七の斜の折目を合せ圖の合印(イ)と(イ)の如く一と三の折目の所まで返縫になし縫

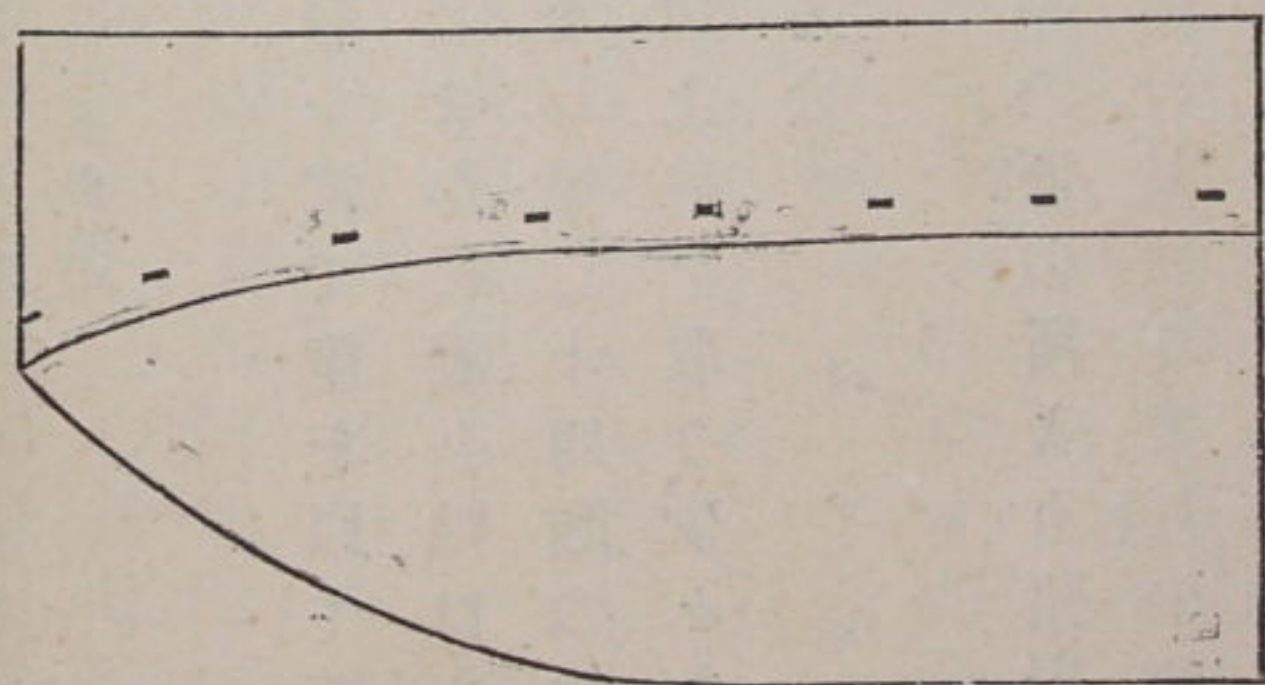
標有ふ縫を裙左 圖七十二第



圖るた見を裏てげ揚ひ縫 圖八十二第



標有るたげ揚ひ縫を裙左 圖九十二第



衽を引き張りて、息を吹きかけ、膝頭に載せて、手の掌にて押し乾かし、然る後、表衽を自己の向ふに、裏を自己の方になして持ち、程よき所に待針を刺して、其所を小針に縫ひ、五厘きせをかけて、表の方に折を附け、隠躰を、針目を四五分位になして掛るなり。

○衣服の解方。

衣服を解くには先づ衿の筋目を解き次に袖口次に衿先より裙下、裾口とす、袷或綿入なれば裏と表とを解き分けてより衿、衽、兩脇、袖附、袖の順序に依りて解き來り終りに脊縫を解くべし總て解物は粗忽に取扱ふべからず絲屑、綿屑等は能く之を取去り且又小切等は失はぬ様注意すべし。

○男服絲の極め所。

男服の絲止をなす場所は左右の袖口に二ヶ所、袖形に二ヶ所、左

右の袖付に二ヶ所、左右の衿先に二ヶ所、同衿先に二ヶ所、三ツ衿に一ヶ所、左右の裾先に二ヶ所、左右の脇縫に二ヶ所、脊縫に一ヶ所、都合十八ヶ所なり。

○女服絲の極め所。

女服は、男服の極め所より身のやつ口に於て左右に二ヶ所、袖附に於て左右前後二ヶ所、都合廿二ヶ所となるなり。

羽織は、左右の袖口に二ヶ所、袖附に二ヶ所、袖形に二ヶ所、左右衿先に二ヶ所、紐附に二ヶ所、三ツ衿に一ヶ所、左右の襠まこに前後四ヶ所、脊縫せみに一ヶ所、都合十六ヶ所なり。

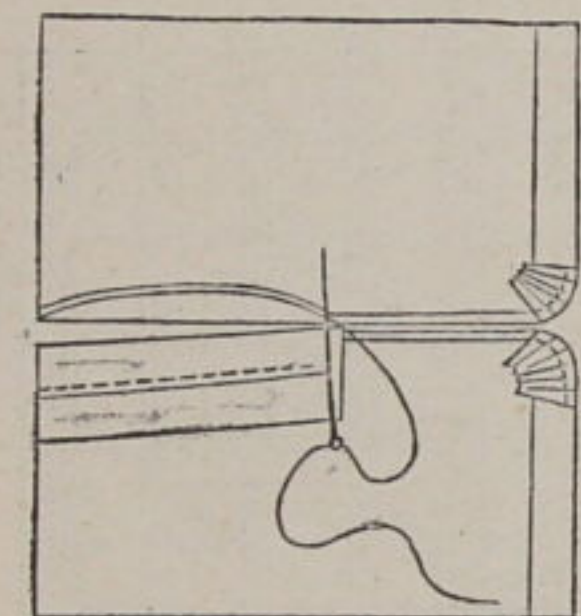
○袖口布の懸方。

袖口布の懸方は、始め横の方を縫ひつけ、角の所は小さく針止をなし、次に豎を縫ひ付け、次に又横を縫ひ、其折は袖口の方に返す

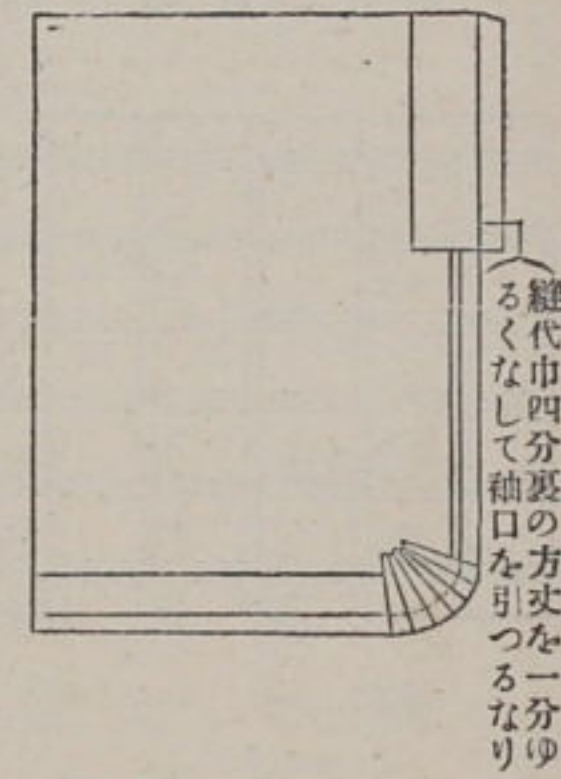
袖口懸をけ有る様 第三十圖



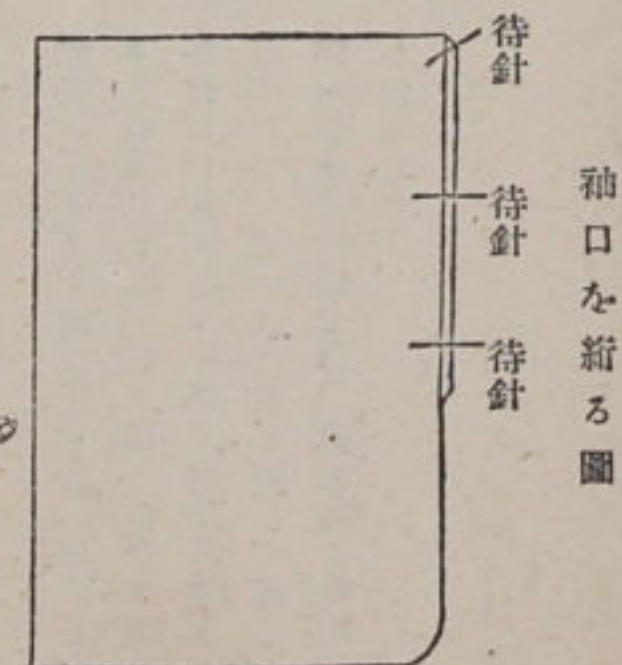
第三十三圖 袖口止め縮む有る様



第三十一圖 裏袖縫ひ揚るた圖



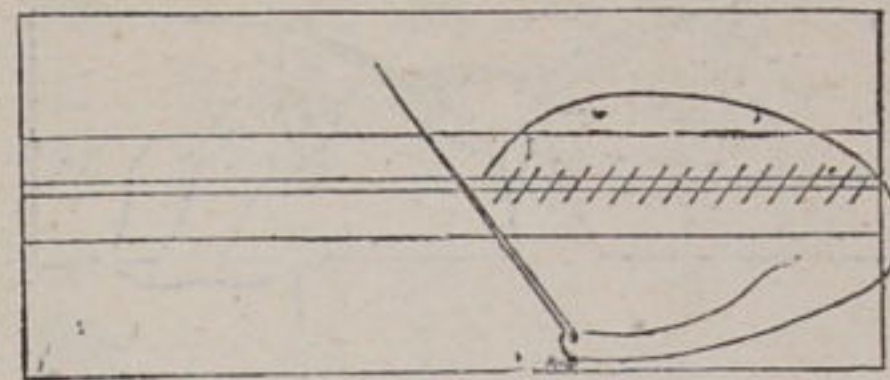
第三十二圖



袖口綿を縮るに縮しろ四分にして、針目一寸位に糸と綿とつらぬ様に綿をくり付け、袖口明を止るには、表袖を一分程ゆるくなして裏と表の間に於て能く糸止をなし次に縮始めと縮終りとは表の方を引きつり、其の他は表の方をゆるく縮るなり。

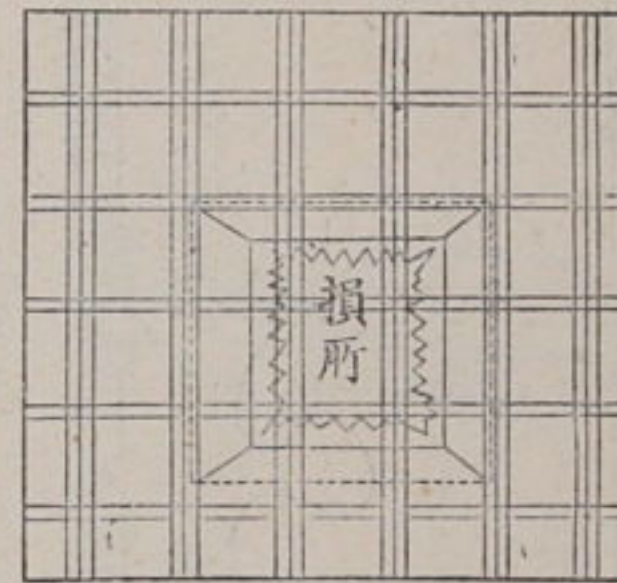
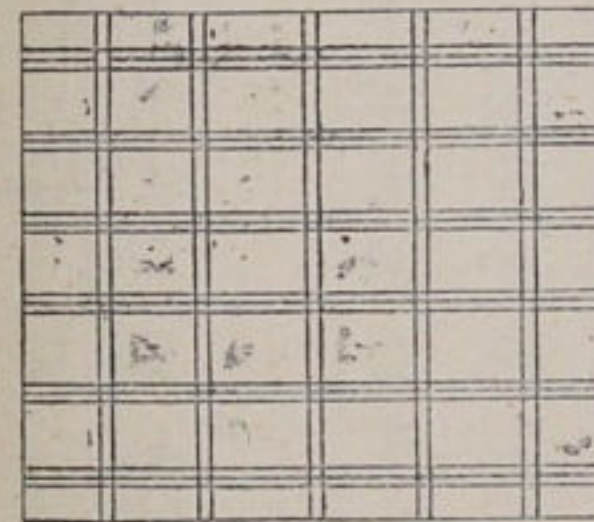
方仕のぎは懸

圖四十三第



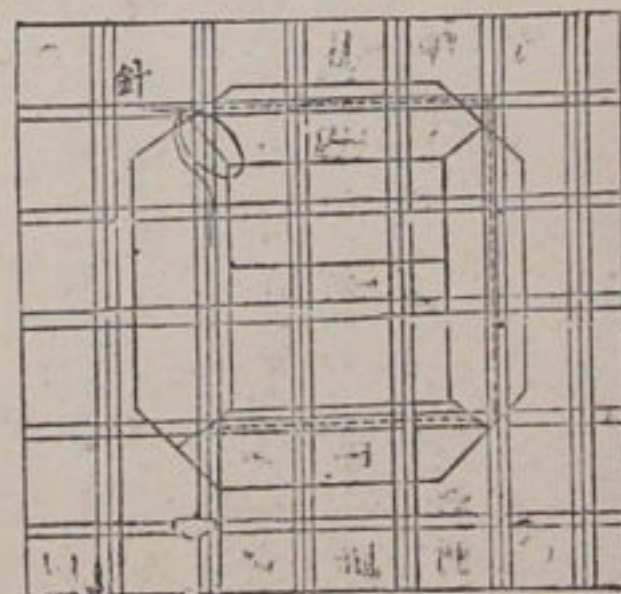
圖のり上來出 圖七十三第

方仕のぎは掛 圖五十三第



損所の繕方

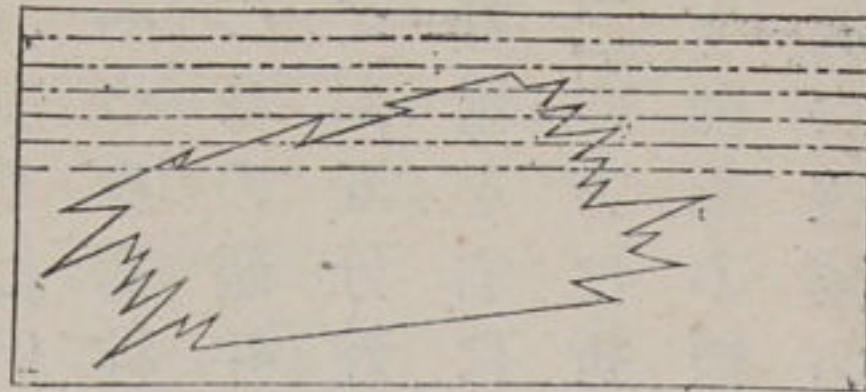
圖すなを繕懸 圖六十三第



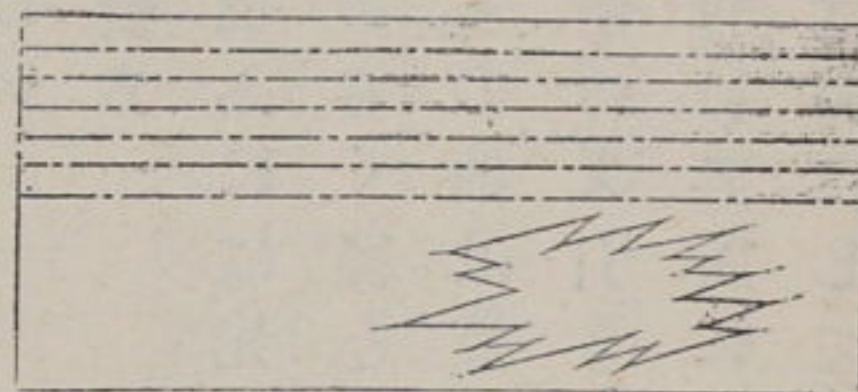
此繕方を升を入ると云ふ

懸繕は、損所、或は短き所に足すとき  
の仕方にして、縞と縞とを合せ折  
を付け、其所をスガ糸、或は共糸を  
ほつして、布一本に針を刺し、能く  
縞を合せて、繕付け、裏の方より縞  
を當るなり。

圖繕ヲ綿木 圖八十三第



圖繕ヲ布帛 圖九十三第



○懸繕の仕方。  
の方を引きつり、其他は表の方をゆさ寛くゆさ紵るなり。

懸繕は、損所、或は同し布を縫合す仕方にして、縞と縞とを合せ、折  
を付、其所をスガ糸、或は共糸を以て、布の糸一本に針を刺し、能く

なり。

○袖口綿の繕方。

袖口綿を繕るに紵代を四分にし  
て、針目一寸位に糸と綿とつらぬ  
様に綿をくゝり付け、袖口明あきを止  
むるには、表袖を一分程ゆるくな  
して裏と表の間に於て能く糸止  
をなし次に始めと紵終りとは表

縞を合せて、繼付、裏の方より鏝を當て繼目の無様に見するなり。

○一つ身の襦袢を仕立つる寸法。

袖附三寸五分以上、身のやつくち二寸、身幅前後共いつばい、馬乗二寸、衿幅八分、袖丈五寸以上、身丈一尺以上、衿肩八分、其他はいつばい。

○一つ身襦袢の縫方。

一つ身の襦袢を縫ふには、先づ袖の表を見て袖下を八つ口の方にて幅五分残し、あさく縫ひ、引き返し、裏を見て、袖丈標しほの所を縫ひ、袖附を右にし、左の袖は、縫目を自己の向ふに折を付け、右袖は、自己の方に折を付け、又引き返し、表を見て、双方正しくして下に置き、袖幅の標を付け、其所に折を付け、八ッ口を三つ折にして、紵しほけ、次に後幅いつばいにして、馬乗の印より身八つ口の印迄脇を

縫ひ、その縫込は、前身頃の方に折をつけ、次に脇縫に折をつけて、身の八つ口と馬乗をとち、次に裾口を二分五厘の幅に三つ折りになして縫ひ、次に袖を付け、其の縫目は、袖の方に折を付け、次に前幅いつばいに衿肩迄斜に折を付け、其所に衿を競くべて、待針を刺し、之を付け、其縫目は、衿の方に返し、次に襟えりは、左を五分程長く掛け、衿幅の印を付け、又其所に折を付け、左右の衿先は一分中を縫ひ、縫込は裏の方に返し、次に衿を紵しほけ、双方正しくなして、疊み付くるなり。

○三つ身襦袢を仕立つる寸法。

袖附四寸五分内外、袖幅六寸五分か七分、身の八つ口二寸、馬乗二寸、身幅前後いつばい、身丈一尺二寸以上、衿肩一寸二分、衿幅一寸、其他は出來得るだけになすなり。但廣袖ならば、何れも袖幅は、上着と同様なり。

○三つ身襦袢の縫方。

三つ身襦袢の縫方は、脊を袋縫になして、寸法の少しく異なるのみにて其他は、一つ身と同様なれば之を略す。

○四つ身襦袢を仕立つる寸法。

袖附五寸袖幅七寸か、七寸五分、身の八つ口二寸、馬乗二寸、五分、身丈一尺五寸、身幅前後共いつばい、衿肩一寸五分、衿幅一寸一分、其他はいつばい。

○四つ身襦袢の縫方。

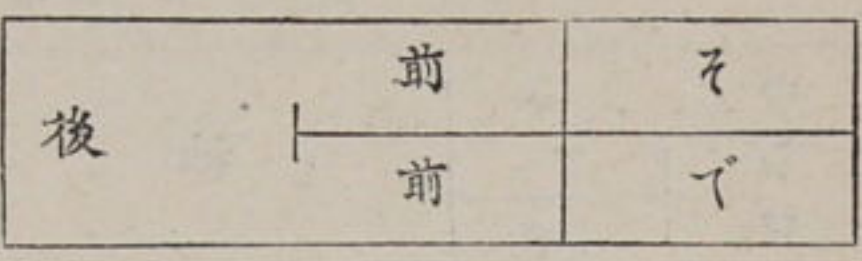
四つ身襦袢の縫方も三つ身と同様なれば之を略す。

○常幅の布を以て一つ身襦袢の裁方及積方。(第四十圖)

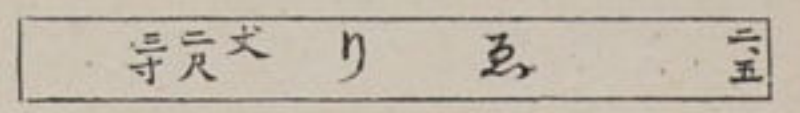
但袖丈五寸、身丈一尺、衿肩八分、衿丈二尺三寸、衿幅二寸五分。

裁方、三尺の中より、一尺切斷し、幅を二つ割になして、兩袖とし、残りの二尺を半幅に折り、又豎を二つに折り、衿肩八分に切り、後

圖十四第



八衿一身分肩尺丈 五袖寸丈



算式

袖 身丈 5, + 10, = 15,	丈 衿廻 10, + 1, 5 = 11, 5
15, × 2 = 30, 用布	11, 5 × 2 = 23, 衿丈

○大ぶりの一つ身襦袢裁方及積方。(第四十一圖)

但袖丈一尺四寸、身丈一尺一寸。

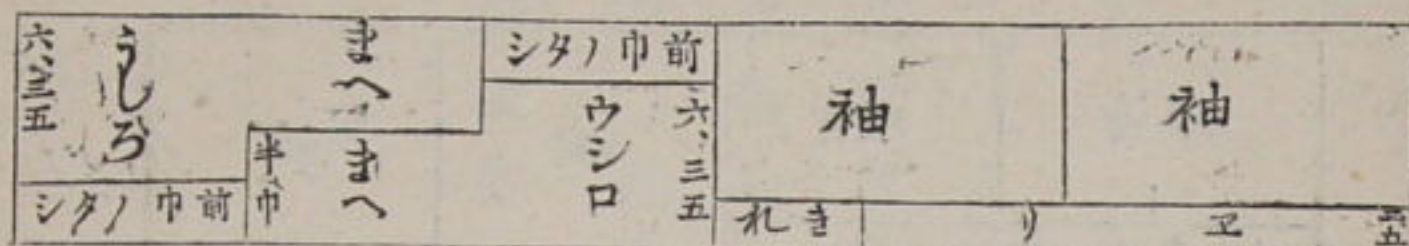
積方。袖丈の四倍と身丈の二倍とを加へて用布を知るなり。

○常幅の布を以て三つ身襦袢の裁方及積方。(第四十二圖)

但袖丈一尺三寸五分、身丈一尺二寸。

裁方。九尺の中より五尺四寸を裁切り、片端より幅二寸五分豎

方裁のし足幅前袴身つ三 圖三十四第

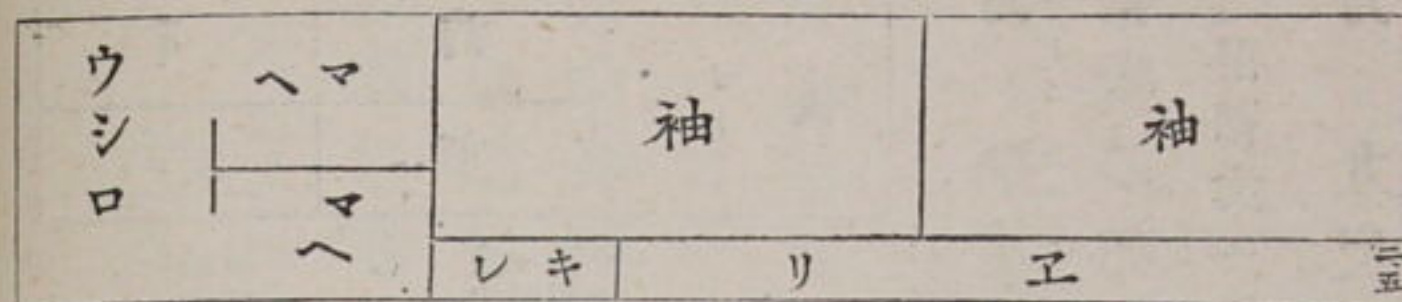


袖丈 一尺五寸  
袖幅 七寸  
身丈 一尺三寸  
肩 一寸六分  
袷丈 三尺二寸

算式  
 $15, \times 4 = 60,$   
 $13, \times 3 = 39,$   
 $60, + 39 = 99, \text{用布}$

に落して、衿となし、残りの廣き方は二つに切りて、袖となす、是れ等を取りて残りたる三尺六寸を丈三つ折にして、一つは向ふの方より五寸切込み、一は自分の方より又五寸切込み、衿肩一寸五分とし、背の端より、残り切を取り、前身頃は、第四十二圖の如く斜に裁斷するなり。  
 積方。袖丈四倍と、身丈の三倍とを合せて總尺を知る。  
 ○大ぶりの三つ身袴袴の裁方。

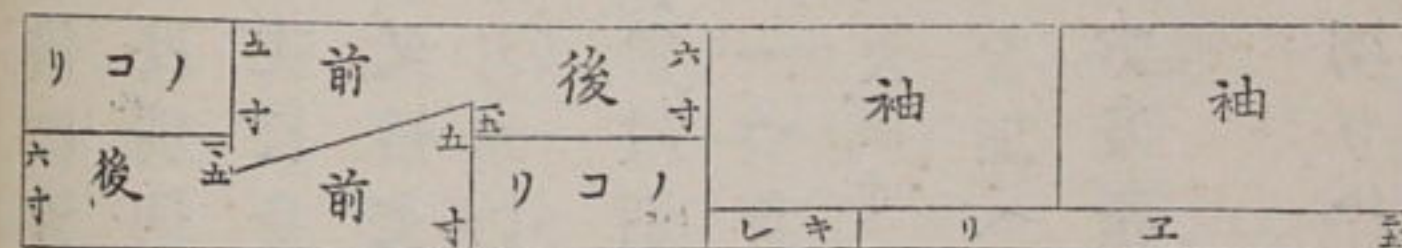
圖一十四第



袖丈 二尺五寸  
袖幅 二寸五分  
身丈 一尺四寸  
肩 一寸  
袷丈 二尺五寸

算式  
 $(14, \times 4) + 11, \times 2 = 78, \text{用布}$

圖二十四第



袖丈 一尺三寸五分  
袖幅 二寸五分  
身丈 一尺二寸  
肩 一寸五分  
袷丈 三尺

算  
 $13,5 \times 4 = 54,$   $12, \times 3 = 36,$   
 $36, + 54, = 90, \text{用布}$



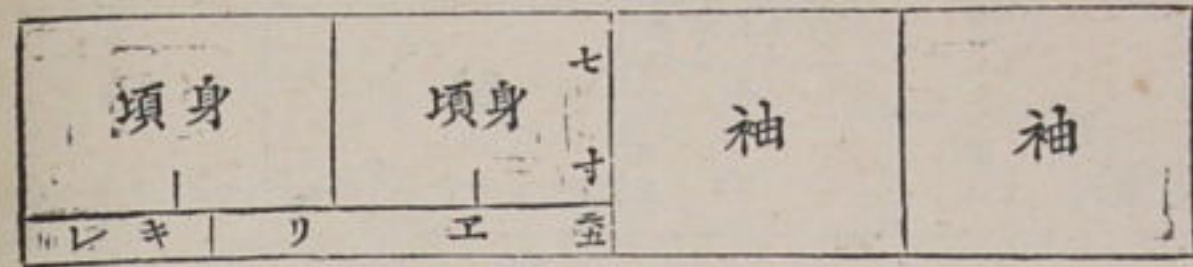
及積方(第四十三圖)

積方。前に同じ。

裁方。九尺九寸の中より六尺を裁切りて、片端より幅二寸五分三に切り落し之を衿とし、廣き方を兩袖となし、残りの三尺九寸を三つ折になして、一つは自分の向ふより幅の眞中まで切り、一つは自分の方より幅の眞中迄切込み、第四十三圖の如く裁ちて、脊の落しを前幅に繼ぐなり。

○常幅の布を以て、四つ身襦袢の

圖四十四第



袖丈	一尺五寸
身丈	一尺五寸
衿肩	一寸七分
衿巾	二寸五分
身巾	七寸
衿丈	三尺六寸

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 15, + \text{身丈} 15, = 30, \\ 30, \times 4 & = 120, \text{用布} \end{aligned}$$

裁方及積方。(第四十四圖)

但袖丈一尺五寸、身丈一尺五寸。

裁方。一丈二尺の中より、六尺切りて、又之を丈二つに裁切り、兩袖となし、残り六尺は、其の片端より幅二寸五分を落して衿となし、其廣き幅の方を丈四つ折になして、衿肩一寸七分切りて、身頃とするなり。

積方。袖丈と身丈とを合せて四倍す。

○筒袖を仕立つる袖の寸法。

- |       |          |          |
|-------|----------|----------|
| 二三歳。  | 口二寸五分。   | 附四寸。     |
| 六七歳。  | 口三寸。     | 附五寸。     |
| 十一二歳。 | 口三寸五分。   | 附五寸七分。   |
| 十五六歳。 | 口四寸。     | 附六寸三分内外。 |
| 四五歳。  | 口二寸八分。   | 附四寸五分。   |
| 八九歳。  | 口三寸二分。   | 附五寸五分。   |
| 十三四歳。 | 口三寸五分内外。 | 附六寸内外。   |
| 大人    | 口四寸五分内外。 | 附六寸五分内外。 |



衿	幅	四寸四寸	イッパ	イッパ	三寸五	外
相	妻	幅	三寸五	三寸五	三寸五	三寸五
幅	幅	二寸	二寸	二寸	二寸	二寸
衿	下	五寸六寸	三寸五	三寸	三寸五	三寸五
批	下	二寸五	三寸五	三寸五	三寸五	三寸五
前	下	一吋一寸	一吋一寸	一吋一寸	一吋一寸	一吋一寸

○男襦袢を仕立つる寸法。

袖丈一尺以上、身丈二尺以上、身幅後八寸、前七寸抱六寸五分、行一尺七寸五分、袖幅九寸、肩幅八寸五分、馬乗三寸衿幅一寸六分、衿衿左を一寸長くなすなり。

○本裁男襦袢の縫方。

先づ袖の表を見て、袖附の方を五分残して、袖下を浅く縫ひ、引返し裏を見て、袖丈印の所を縫ひ、左の袖は、袖附を右に持ち、自己の向ふに折を付け、右の袖は、自己の方に折を付け、引返して表を見、

正しくなして、下に置き、袖幅の印を付け、其所に折を付け、次に衿肩を右に持ち、二分五厘の縫代にして、脊を縫ひ、折目は自己の方に返して下に置き、後幅と肩幅の印を付け、又其所に折を付け、馬乗の印より、袖附の印迄、脇を縫ひ、折目は前身頃の方に返し、その縫込、多き時は、之を前後に開き、後を前の方に一分交へて、之を縫附け、縫込を身頃に綴附け、次に馬乗を綴ぢ、次に袖付は、身頃と袖とを四枚共に糸止をなし、袖付の始め及び終りは、一寸程の間身頃を浅く折りて縫ひ、それより上は、一分の縫代となして、縫目は袖の方に返し、次に裾口を二分五厘の幅に三つ折にして縫ひ、前幅と抱の幅との印を付け、其所に折目を付け、衿と折目とを能く揃へ、待針を刺して、衿を付け、其折目は、衿の方に返し、次に左を一寸長くして、衿衿を掛け、衿幅の印を付け、衿先は、一分中を縫ひ、折

目は裏の方に返し、次に衿を新け、然る後双方正しくなし、之を疊み、壓を置くなり。(脊は一度縫ひし所より耳に寄りたる所を今一度縫ふ。)

第五十圖

衿	身	身	袖	袖
衿丈	身丈	衿肩	袖丈	袖丈
二尺四寸	二尺一寸	二寸二分	一尺二寸	一尺二寸

算式

$$\begin{aligned} & \text{袖} 12, \times 4, = 48, \\ & \text{衿肩廻し} \\ & 108, - 3, = 105, \\ & 21, + 3, = 24, \text{衿丈} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \text{總尺} \\ & 156, - 48, = 108, \\ & 105, \div 5, = 21, \text{身丈} \end{aligned}$$

但衿の掛け方は、初め堅に折を付け、左右の端を一分程させのこき、様縫付け置き、衿の縫目をよくこき出し、衿より衿を五厘程先に出して、下衿の見えぬ様に衿を少し寛く新付くるなり。

○幅九寸五分、長さ一丈五尺六寸の布を以て本裁の單襦袢の裁方及積方。(第五十圖) 積方。袖丈の四倍と衿肩廻し

の三寸とを總尺より減じ、その残りを五除して身丈を得、身丈に衿肩廻しの三寸を加へ、衿丈を得るなり。裁方。先つ一丈五尺六寸の中より四尺八寸を裁切りて、兩袖とし、次に八尺四寸を切りて、之れを四つ折とし、衿肩を二寸二分切りて、身頃とし、残りの二尺四寸を半幅に裁斷し、真中にて継ぎ衿とするなり。

○幅九寸五分の布を以て、男襦袢二枚を裁つ時の用布を求むる法。(第五十一圖)

但袖丈一尺一寸、身丈二尺五分。

積方。袖丈の八倍と、身丈の十倍とを合せて、これに衿肩廻しを加ふれば、用布を得るなり。

○幅一尺三寸の布を以て男襦袢の裁方及積方。(第五十二圖)

圖一十五第

衿	〃	〃	〃	項身	〃	〃	〃	袖
---	---	---	---	----	---	---	---	---

衿丈 四尺八寸  
 衿肩 二寸二分  
 身丈 二尺〇五分  
 袖丈 一尺一寸

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈 } 11, \times 8 &= 88, \\ 205, + 88, &= 293, \\ \text{身丈 } 20,5 \times 10 &= 205, \\ 293, + \overset{\text{細肩衿}}{6}, &= 299. \text{用布} \end{aligned}$$

圖二十五第

後	前	六五	り	エ	袖	袖
ハカ	三	六五	三	ハカ		
り	エ		後	前		

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈 } 12,5 \times 4 &= 50, \\ \text{身丈 } 21, \times 3 &= 63, \\ 50, + 63, &= 113. \text{用布} \end{aligned}$$

積方。袖丈の四倍と、身丈の三倍とを加へて、用布を知るなり。衿は真中に足し切を入るゝなり。

但身丈二尺一寸、衿肩二寸二分、袖丈一尺二寸五分。

○標<sup>しほ</sup>裨<sup>ばい</sup>纏<sup>てん</sup>を仕立つる寸法。

袖丈は袖付にて九寸、袖口にて八寸、廣袖、袖幅いつばい、袖附は袖丈を残らず附くる、袖口には別布にて色は重にこげ茶を用ふ。

身丈二尺四五寸、衿肩二寸三分、後幅八寸、肩幅いつばい、前幅襟肩より真直、衿幅一寸五六分。

但衿に綾或は文字のある時は、標を衿幅の中央になる様にして、衿幅を定むるなり。(肩當別布を用ふ)

○標裨纏の縫方。

第一に袖と袖口布とを縫ひ合せ折は袖の方に返し、次に袖下は袖口布幅のある間は普通に縫ひ、其他は袖下を袋縫ひにして袖下を縫ひ、次に袖口布を拵付け、次に肩當布の横の裁目の所を二

つ折にして縫ひ置き、次に身頃を手前に、肩當を向ふに持ちて脊を二度縫ひ、次に身幅と肩幅印とをなして脇を縫ひ、其絲を切らずして身頃にて袖を挟みて四つ止をなして袖を付け、折は袖の方に返し、次に肩當の奥の方を綴附け、次に脇の縫込の端を綴ぢ次に裾口は丈を裏に一寸五分以上二寸位まで折り返し、三つ折になして紵付け、次に前幅を衿肩明きの止まりより眞直に裾口まで折を付け、此折より縫代幅三分だけ廣くなして其所にも折をり附け、布幅の残りし分は前身頃の裏に出し置き、前身頃を折たるまゝにて衿を附け、三つ衿には別布を心に入れ、前幅の残りし分は衿幅の中に心の如くに折り返して縫目に折を附け、次に衿先を縫ひ、折は裏に返し、裏にて紵るなり。但襟を紵る時、始めに襟を附けたる針目の出ぬ様になして紵るなり。

附言

腰に文字ある時は、此文字を能く揃へて脊脇を縫ひ、衿に文字のある時は、此文字が出来上りて衿の縫目より一分はなれ、衿幅の山よりも一分はなるゝ様に衿山を定め布幅を二つに折りて衿幅標を裏表共になし置きて衿を附くるなり。

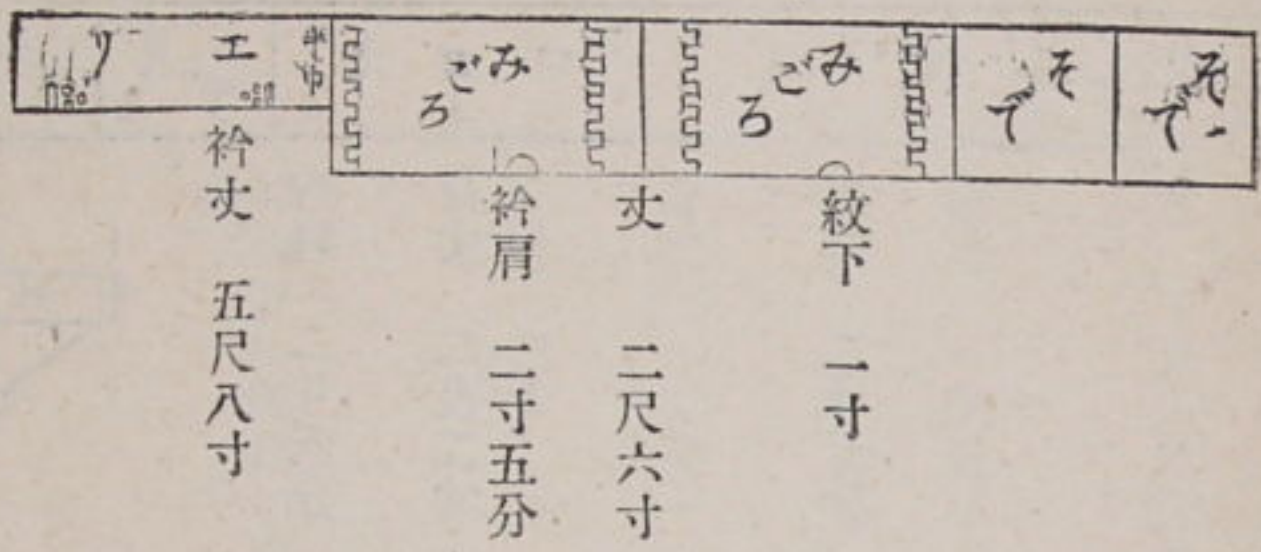
○幅九寸五分の布を以て標襟

纏の裁方及積方。(第五十三圖)

但衿は別に半幅の切を用ふ。

積方。袖丈と身丈とを合せて之

圖三十五第



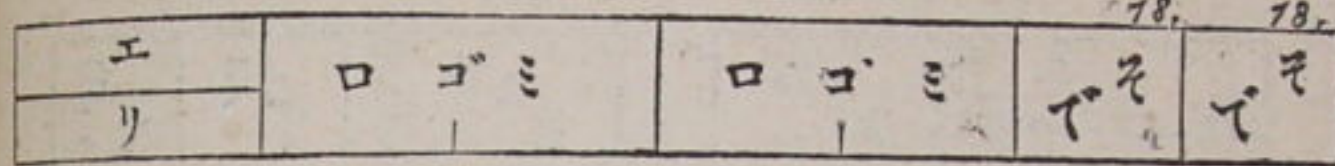
算  
袖 10, + 身 26, = 36,

36 × 4 = 144,  
袖と身頃の用布

式  
身 26, + 3, = 29,

29, × 2 = 58, 衿丈

圖四十五第



エリ 二尺五寸五分  
 ロゴミ 二寸五分  
 身丈 二尺二寸  
 衿肩 二寸五分

算式

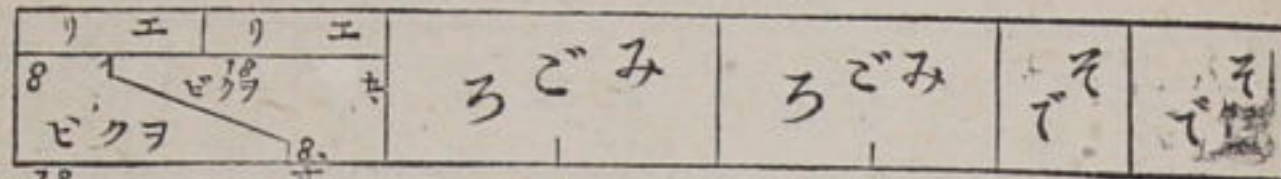
袖  $18, \times 2 = 36,$  身  $22, \times 5 = 110,$   
 $110, + 36, + 3, = 149,$  用布  
衿肩廻し

を四倍すれば袖と身頃の用布を得、次に身丈に衿肩廻しを加へ、之を二倍すれば衿丈を得。  
 ○常幅の布を以て鯉口袷纏の裁方及積方。(第五十四圖)  
 積方。袖丈を二倍し又身丈を五倍して、此兩者を合せ、これに衿肩廻しを加ふれば、用布を得るなり。

○一丈七尺の布を以て、子守袷纏の裁方及積方。(第五十五圖)

但袖丈一尺五寸、衿下三寸、裙下八

圖五十五第



袖丈 一尺五寸  
 衿肩 三寸  
 身丈 二尺一寸  
 衿肩 三寸

算式

袖丈  $15, \times 4 = 60,$  衿下  $170, - 60, = 110,$   
 $110, - 8, = 102,$  衿下  $102, + 3, = 105,$   
 $105, \div 5, = 21$  身丈  $21, + 8, = 29,$   
衿下  $29, - 3, = 26,$  衿衿地  
衿下

寸にして身丈及衿衿地を求る法。

積方。袖丈の四倍と、衿下の八寸とを總丈より減じ、その残りに、衿下の三寸を加へて五除し、身丈を得、又身丈に衿下の八寸を加へ、そより衿下の三寸を減ずれば、衿衿地を得るなり。此の子守袷纏には、綿三百目以上を用ふるを普通とす。

○二丈八尺四寸の布を以

圖六十五第

リ	エ	ろごみ	ろごみ	そで	そで	袖奥
33.	77.					全
77.	33. 33.					

衿衿地 五尺  
身丈 三尺六寸  
衿肩 三寸  
袖丈 一尺五寸

算式  
袖 15, × 6 = 90, 尺寸  
177, + 3, = 180,  
36, + 17, = 53,  
裙下 284, - 90, - 17, = 177.  
180, ÷ 5, = 36, 身丈  
53, - 3, = 50, 衿衿地

て、子守袴纏裏の裁方及積方。  
但袖裏一幅半にして丈一尺五寸  
衿下三寸。(第五十六圖)

積方。袖丈の六倍と、裙下の二尺七寸とを總尺より減じ、その残りに衿下の三寸を加へ五除すれば、身丈を得、又身丈に裙下の二尺七寸を加へ、衿下の三寸を減すれば衿衿地を得るなり。

○幅九寸五分の布を以て、身丈、後三尺五寸、前三尺五寸八分、袖丈一尺七寸裁切の女長襦

圖七十五第

衿	項身	項身	袖	袖
衿				

衿丈三尺九寸三分  
前丈三尺五寸八分  
衿肩 二寸四分  
後丈 三尺五寸  
袖丈 一尺七寸

算式  
袖丈 17, × 4 = 68,  
68, + 179, + 3, 5 = 250, 5  
250, 5 - 1, 6 = 248, 9 用布  
衿肩過シ  
前下  
前下  
前下  
35, 8 × 5 = 179,  
35, 8 + 3, 5 = 39, 3 衿丈  
8 × 2, = 1, 6  
衿肩廻し

るなり、又前丈三尺五寸八分に、衿肩廻三寸五分を加ふれば、衿

袴の裁方及積方。(第五十七圖)

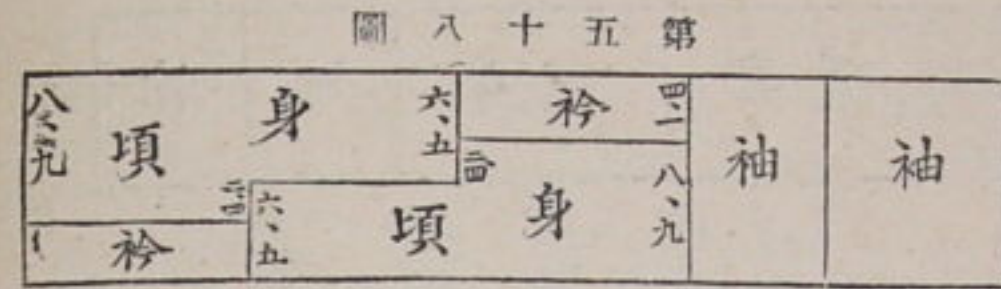
裁方。總尺二丈四尺八寸九分より、袖丈の四倍即六尺八寸を切りて、兩袖となし、その残りより、衿丈三尺九寸三分を切り、其の残り一丈五尺一寸六分を身頃とす。

積方。袖丈の四倍と、身丈の五倍及衿肩廻の三寸五分とを加へて二丈五尺を得、それより前下の二倍を減ずれば、總尺を得



丈を得るなり。

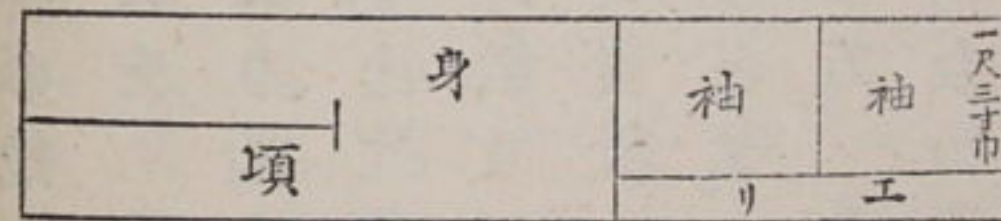
○幅一尺三寸、長さ一丈六尺七寸五分の布にて女長襦袢の裁方圖及積方。但袖丈一尺六寸、前下八分、(第五十八圖)



袖丈一尺六寸  
後丈三尺四寸二分  
前丈三尺五寸  
算式

$$\begin{aligned} \text{袖} & 16 \times 4 = 64, & 167,5 - 64, & = 103,5 \\ 103,5 - 8 & = 102,7 & 102,7 \div 3 & = 34,2 \text{ 後丈} \\ 34,2 + 8 & = 35, \text{ 前丈} \end{aligned}$$

圖 九 十 五 第



袖丈一尺五寸  
後三尺五寸  
前三尺五寸八分  
算式

$$\begin{aligned} \text{袖} & 15 \times 4 = 60, & 35 \times 2 & = 70, \\ 70 + 8 & = 70,8 & 70,8 + 60, & = 130,8 \text{ 用布} \end{aligned}$$

積方。袖丈の四倍と前下の八分を總丈より減じ、其の残りを三  
除し後丈を得、後丈に前下の八分を加へ前丈を得るなり

○幅一尺七寸の布を以て、女長襦袢の裁方及積方。(第五十九圖)

但袖丈一尺五寸、身丈三尺五寸 前下八分。

積方。袖丈の四倍と、身丈の二倍とに、前下八分を加へて用布を  
得るなり。

○女長襦袢の縫方。(但袷)

先づ表袖と裏袖の口先とを縫合せ、裏の方に折を付け、襷絲を懸  
け、次に袖幅の印を付けて、八つ口を縫ひ、又袖下を四枚共に縫ひ  
引返して袖下と八つ口とに襷をかけ、次に表の身頃を取り、衿肩  
を右に持ち、脊縫をなし、縫目を自己の方に返して下に置き、後幅  
と肩幅との印を付け、又折を付け、脇を縫ひ、其の縫目は、前身頃の

方に返し、次に裏の身頃を取り、裾廻し布を縫合せ、又躰絲を懸け、衿肩を右にして、脊を縫ひ、其の縫目は、自己の向ふに返して、下に置き、後幅と肩幅との印を付け、脇を縫ひ、次に裾口を合せ、一分きせをかけて、躰絲を懸け、襷を極めて、襷縫をなし、裏と表との間に脊と脇との縫目を綴ぢ、次に身の八つ口を縫ひ、袖を付け、表袖の縫目は袖の方に折を付け、裏袖は身の方に折を付け、次に前身頃の端を表と裏と一所に綴ぢ、前幅と抱の幅と其中間との三ヶ所に印を付け、其所に衿を心と共に付け、縫目は、衿の方に返し、躰絲を懸け、衿幅の印を付け、衿先は一分中を縫ひて、衿を紵け、次に衿襟を拵へ、左の方に一寸長くして、衿襟を懸け、然る後之を疊み置くなり。但右は總て四つ縫となすもよろし

衿衿の拵へ方は、裏衿若し緋縮緬ならば、緋色木棉の剛く張りた

る物を裏打ちとなし、表も同様にし、然る後裏襟と、表衿とを合せ幅を二寸残して、衿山の方を縫ひ、角は最初横布を折りて綴ぢ付け、次に豎布を折り、綴ぢ付けて引返し、躰絲をかけ、衿幅の印を付け、衿より五厘程先に出して、紵付くるなり。(但衿は模様の附方によりて上前と下前の長さを同様になす)

○一つ身仕立つる寸法。

袖付三寸五分乃至五寸、袖幅五寸以上、身の八つ口二寸、後幅前幅一ばい、抱幅三寸五分、衿下二寸五分、衿幅二寸五分乃至三寸位、相裙を二分つめ、裙下三寸五分乃至五寸、衿肩一寸、袖丈一尺以上、衿幅九分内外。

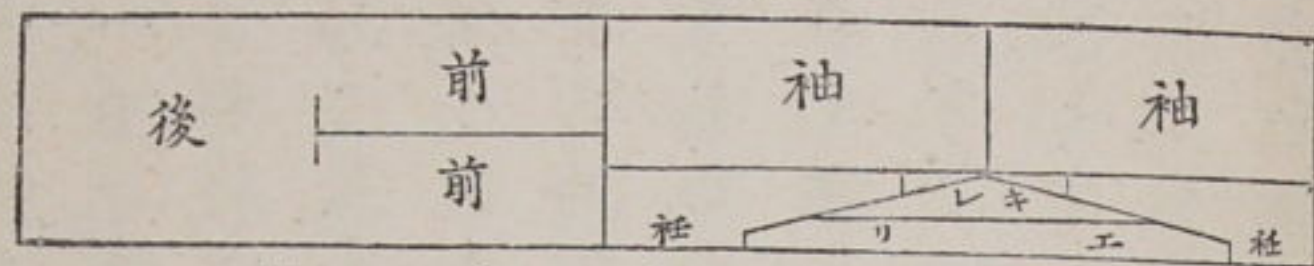
○一つ身單衣の縫方。

先づ袖口の切を自己の向ふに、袖を自己の方に持ち、袖の切をゆるく、袖口の切を引つりて縫ひ、折目は袖の方に返し、袖下を袋縫

になし、次に袖口の襷を二厘として、躰絲を懸け、又袖口を紵附く  
 る方にも躰絲をかけ、針目を三分位に紵付けて、下に置き、袖幅の  
 印を付け、八つ口及衿下を紵付け、次に後幅一ばいにして印を付  
 け、脇を縫ひ、折目は、前身頃の方に返し、脇縫に縫込多くあるとき  
 は、之を前後に開きて、折を付け、身の八つ口を綴ぢ、袖を付け、折目  
 は袖の方に返し、次に前幅と抱幅との印を付け、折を付け、其所に  
 衿を揃へ、待針を刺し、袋縫ひになして、左右共下より衿を付け、其  
 の縫目は、衿の方に返し、次に裾を幅二分五厘に三つ折にして、針  
 目を三分位に紵付け、次に衿を付け、縫目は、衿の方に返し、衿幅の  
 印を付け、衿先は一分中を縫ひ、其の縫目は、裏の方に返して、紵付  
 け、然る後双方正しくなして、疊み置くなり。

但其の品に依り、三つ衿に別切を入るゝものとす。

第十六圖



袖一尺五寸  
 袖幅六寸  
 裾下八寸  
 衿幅一寸三分  
 衿丈二尺四寸  
 身丈  
 二尺五寸  
 衿肩 一寸

算式  
 $110 - 60 = 50$   
 $50 \div 2 = 25$  身丈  
 $15 \times 4 = 60$  袖丈

○幅九寸五分、長さ一丈一尺の布を  
 以て、一つ身の裁方及積方。

但袖丈一尺五寸とす。

裁方。一丈一尺の中より、六尺切り  
 其の幅の片端より、幅六寸豎に斷ち  
 て、兩袖となし、残りの三寸五分幅を  
 第六十圖の如く裁切りて、衿衿と  
 なし、幅にて五尺残りし切を半幅に  
 折り、又豎二つに折り、輪になりし方  
 を一寸切込みて、衿肩となし、後身頃  
 は其の儘にし、前の方は、二つ割にな  
 して、前身頃となすなり。

積方。袖丈の四倍を總尺より減じ、二除せば、身丈を得るなり。  
○一つ身衿の縫方。

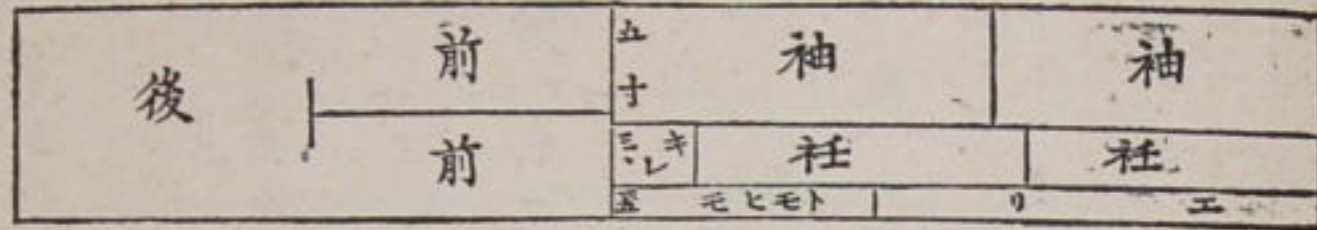
先づ裏袖に袖口を懸け、折は袖口の方に返し、次に裏袖を自己の向ふに、表袖を自己の方に持ち、袖口の切を少しひきつり、表袖と裏袖とをゆるくして、口先を縫ひ、其の縫目は、表の方に返し、下に置き、袖幅の印を付け、八つ口を縫ひ、縫目は、裏の方に返し、袖下は裏表四枚共に縫ひ、引返して、縫目を正しくし、躰絲を懸け、次に表身頃を取り、後幅と肩幅との印を付け、脇を縫ひ、其の縫目は、前身頃の方に返し、次に裏の後幅と、肩幅との印を付けて脇を縫ひ、次に表と裏との裾口の縫目を能く合せ、待針を刺し、裾口を縫ひ、其の縫目は五厘きせを掛けて、表の方に返し、躰絲を懸け、衽を定めて衽綴をなし、次に表と裏との間にて、脇の縫目を綴ぢ、身の八つ口

を縫ひ、袖付の始め終りは、身頃と袖とを四枚共に止めて、表袖を縫付け、其の縫目は、袖の方に返し、次に裏袖を縫ひ、折目は、身頃の方に返し、次に前身頃の端を表裏ともに綴じ、前幅と抱幅との印を付け、次に左右の裾を拵へかくし躰をなし、次に身頃の衽と、衽衽とを能く揃へて絲を止め、四つ縫になし、裾下をも縫ひ、引返して縫目を正し、劔先の所は、表裏共に綴ぢ、次に脊より左右に衿を付下し、表衿の幅の端に、裏衿を縫付け、其の縫目は、裏衿の方に返し、次に衿幅の印を付け、衿先は一分中を縫ひ、三つ衿に切を入れて、衿を紵け、然る後正しく疊み置くなり。

但脊守は、衿肩より五分下けて附け、紐は身の八つ口の止まりと同じ高さの所より附くるなり。

又絲を以て守縫を付くるときは、青、黄、黒、白、紅の五色の絹絲を以て、圖の如く付

圖一十六第



袖丈一尺三寸  
袖幅五寸  
衿幅三寸  
衿丈一尺八寸  
衿幅一寸五分  
衿丈三尺五寸  
身丈一尺九寸  
衿肩一寸

算式

袖丈  $13 \times 4 = 52,$   
 $90 - 52 = 38,$   
 $38 \div 2 = 19,$  身丈

五寸ある切を丈二つに裁ちて兩袖とす、然る後、幅にて三尺八寸残りし切を半幅に折り、又豎二つに折りて衿肩を一寸明け、後身頃は其儘にしをき、前身頃は半幅に切斷するなり。

積方。袖丈の四倍を總尺より減じ之を二除せば身丈を得。

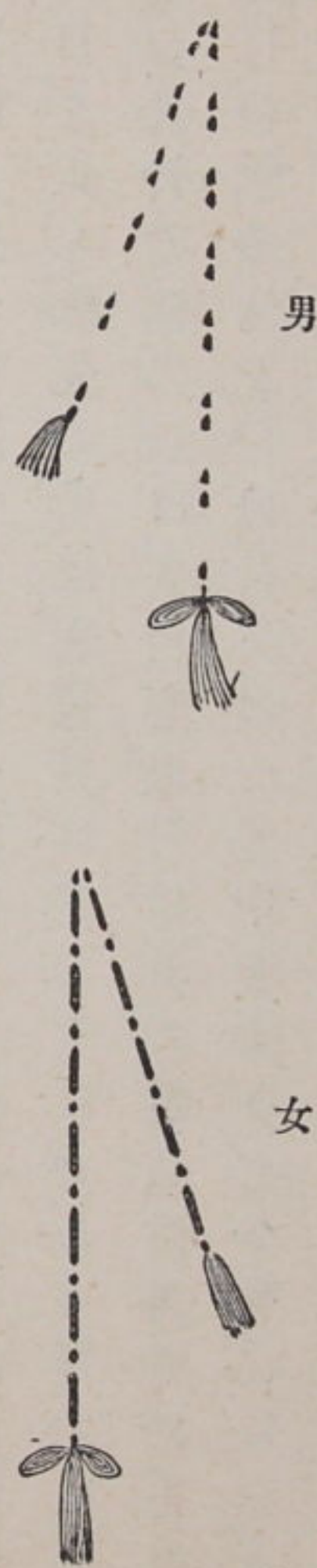
○幅九寸五分、長さ八尺二寸五分の布を以て、一つ身裏の裁方及積方。(第六十二圖)

但袖丈一尺三寸、衿下二寸。

○幅九寸五分長さ九尺の布を以て一つ身の裁方及積方。

但袖丈一尺三寸。(第六十一圖)

裁方。先づ九尺の中より五尺二寸切取り、其端より幅一寸五分裁落して衿となし、又幅三寸落して左右の衿となし、其残りの幅



くるなり。  
 (一つ身は赤子より二才位迄着用する衣服なり)  
 (一つ身とは身頃一布なるが故に此稱あり。)

圖二十六第

袖	前	後	社
袖	前	後	社

袖丈一尺三寸  
身丈一尺九寸五分  
衿肩一寸  
一尺七寸五分

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 13 \times 2 = 26 \\ \text{衿下} & 56,5 + 2 = 58,5 \\ \text{身丈} & 82,5 - 26 = 56,5 \\ & 58,5 \div 3 = 19,5 \\ \text{衿丈} & 19,5 - 2 = 17,5 \end{aligned}$$

裁方。八尺二寸五分の中より、二尺六寸裁切り、之を半幅に斷ちて兩袖とし、次に三尺九寸切りて身頃とし、残りの一尺七寸五分を衿となすなり。

積方。袖丈を二倍して總尺より減じ、其残りに衿下の二寸を加へ、之を三にて除せば、身丈を得るなり。

○幅九寸五分の布を以て、一つ

身別衿の裁方及積方。(第六十三圖)

但袖丈一尺四寸五分、身丈二尺四寸、

圖三十六第

ナ	マ	ウ	デ	ツ
ナ	マ	ウ	デ	ツ

袖丈一尺四寸五分  
袖幅七寸  
衿幅二寸五分  
衿丈四尺五寸  
身丈二尺四寸  
衿肩一寸  
衿丈二尺三寸

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 14,5 \times 4 = 58, \\ \text{衿下} & 24 \times 3 = 72, \\ & 72 + 58 = 130, \\ & 130 - 2 = 128, \text{用布} \end{aligned}$$

衿下二寸

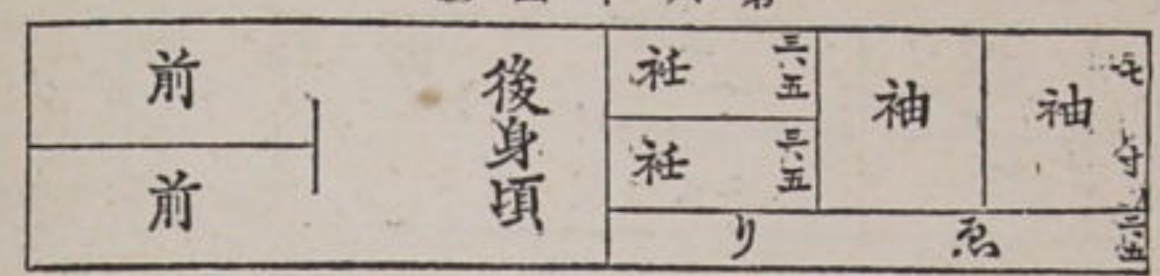
裁方。先づ一丈二尺八寸の中より五尺八寸切り、其片端より幅二寸五分豎に斷ちて衿となし、残りの切を二つに切りて兩袖となし、次に四尺八寸切りて身頃となし、残りの二尺二寸を半幅として、左右の衿となすなり。

積方。袖丈の四倍と、身丈の三倍とを合せ、此中より衿下の二寸を減じて用布を得るなり。

○常幅にて一つ身筒袖の裁方及積方。(第六十四圖)

但袖丈五寸、身丈二尺三寸、衿下二寸。

圖四十六第

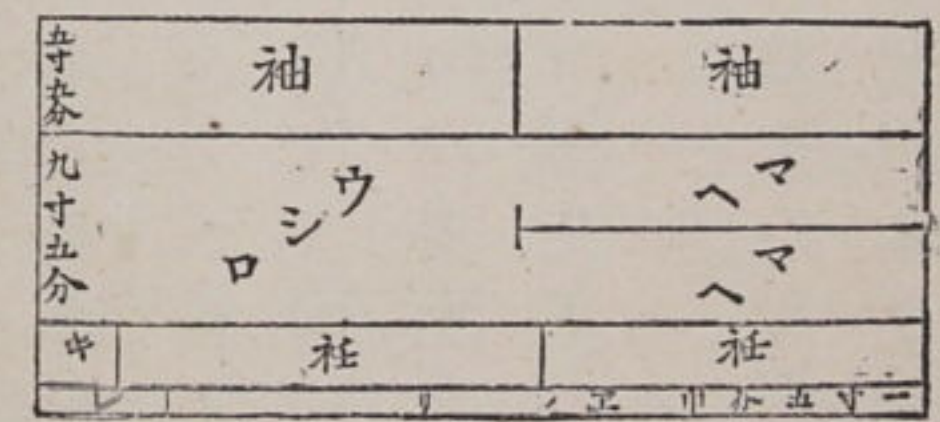


袖丈五寸  
袖幅七寸  
衿幅二寸五分  
衿丈四尺一寸  
衿幅三寸五分  
衿丈二尺一寸  
身丈二尺三寸  
衿肩一寸

算 式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 5, \times 4 = 20, \\ \text{衿下} & 69, - 2, = 67, \\ \text{式} & 23, \times 3 = 69, \\ & 20, + 67, = 87, \text{用布} \end{aligned}$$

圖五十六第



袖丈一尺二寸  
袖幅五寸五分  
身丈二尺四寸  
身頃幅九寸五分  
衿幅三寸五分  
衿丈二尺二寸  
衿幅一寸五分  
衿丈四尺  
衿肩一寸

算 式

$$\begin{aligned} 48, \div 4 = 12, \text{袖丈} \\ 48, \div 2 = 24, \text{身丈} \end{aligned}$$

積方。身丈の三倍より衿下を減じこれに袖丈の四倍を加ふれ

ば用布を得るなり。

○二尺幅長さ四尺八寸を以て、一つ身の裁方及積方。(第六十五圖)

裁方。先づ幅二尺の片端より幅五寸五分を裁切りて袖とし、次に幅九寸五分を裁ち落して身頃となし、次に幅三寸五分を左右の衿とし、残りの幅一寸五分を衿となすなり。

積方。總尺四尺八寸を四除せば袖丈を得、又總尺を二除せば身丈を得るなり。

○幅一尺三寸、長一丈三寸の布を以て、一つ身の裁方及積方。

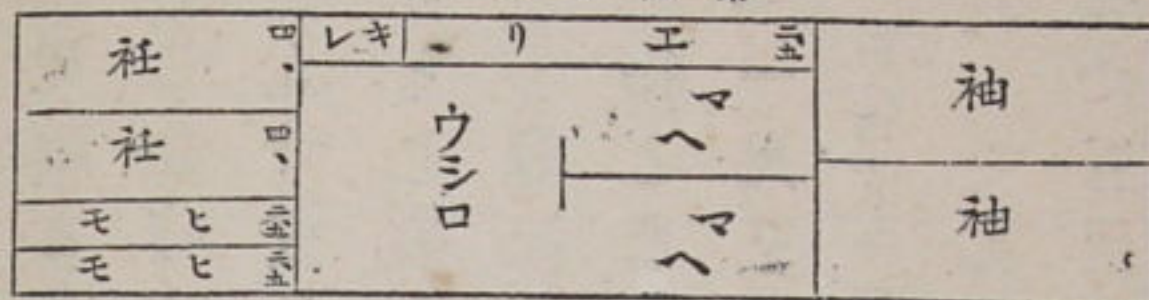
但袖丈一尺五寸、衿下二寸。(第六十六圖)

裁方。一丈三寸の中より三尺切り、之を幅二つに割りて兩袖とし、次に五尺切り、其片端より幅二寸五分裁落して衿とし、残りの廣き方を身頃とす、幅にて二尺三寸残りし切を衿と附紐とにな

すなり。

積方。袖丈を二倍して總尺より減じ、其残りに衿下の二寸を加

圖六十六第

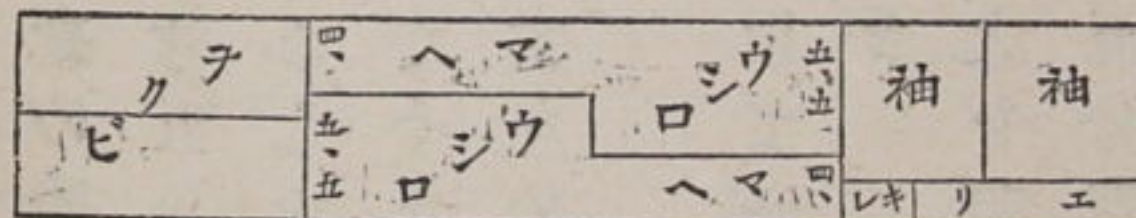


袖丈一尺五寸  
袖幅六寸五分  
衿丈四尺五寸  
身丈二尺五寸  
身頃幅一尺五分  
衿幅二寸五分  
衿肩一寸  
衿丈二尺三寸  
衿幅四寸  
紐幅二寸五分

算 式

袖丈  $15, \times 2 = 30,$  總尺  $103, - 30, = 73,$   
 衿下  $73, + 2, = 75,$  衿下  $75, \div 3 = 25,$  身丈  
 身丈  $25, - 2, = 23,$  衿下

圖七十六第



衿丈二尺四寸  
衿肩一寸五分  
身丈二尺六寸  
袖丈一尺六寸  
衿幅二寸五分  
衿丈四尺六寸

算 式

袖丈  $16, \times 4 = 64,$  身丈  $26, \times 3 = 78,$   
 $78, + 64, = 142,$   $142, - 2, = 140,$  用布  
 衿下

へ、之を三除せば、身丈を得るなり。

○常幅の布を以て、二つ身の裁方及積方。

但袖丈一尺六寸、身丈二尺六寸、衿下二寸、片  
 面物にては裁つことを得ず。(第六十七圖)

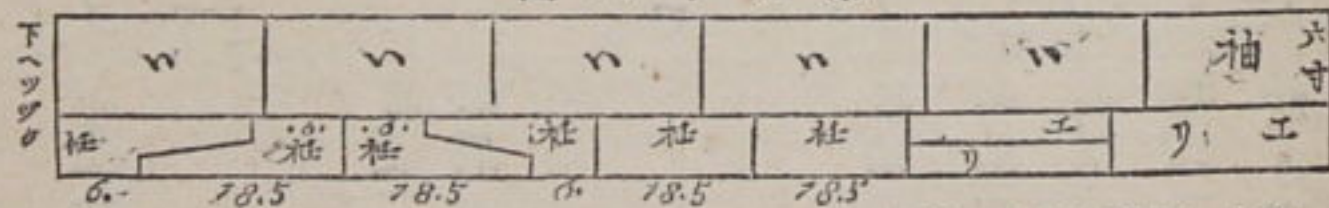
積方。袖丈の四倍と、身丈の三倍とを合  
 せ、衿下の二寸を減ずれば用布を得るな  
 り。

○常幅長さ二丈八尺を以て、一つ身三

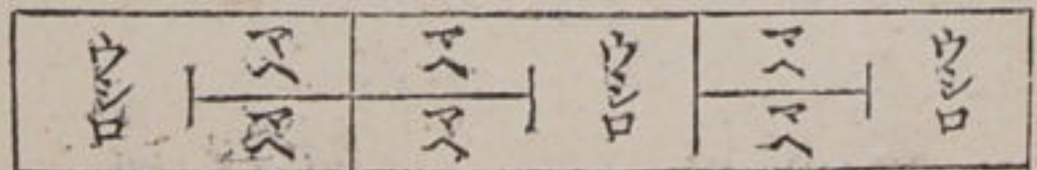
枚の裁合方及積方。(第六十八圖)

積方。袖丈の十二倍を總尺より減じ、残  
 りを六除せば身丈を得るなり。

圖八十六第



袖丈一尺三寸  
袖幅六寸  
衿丈三寸  
衿幅五寸  
衿三寸



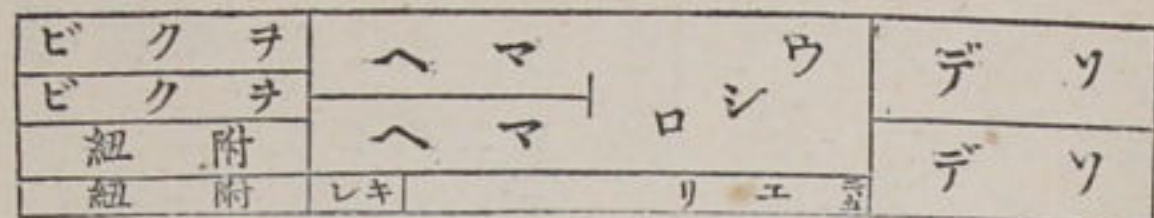
算 式 一肩片

袖丈  $13, \times 12 = 156,$   $280, - 156, = 124,$   $124, \div 6 = 20,66$  身丈



方積及方裁の身つて以を布の寸二尺一幅○

圖一十七第



衿幅二寸五分  
袖丈一尺六寸  
身丈二尺六寸  
衿丈四尺六寸  
衿幅二寸五分  
衿肩一寸

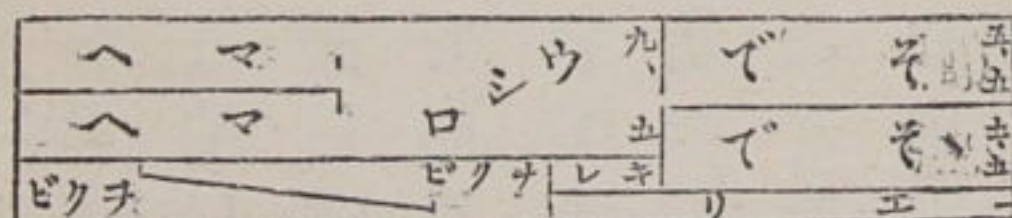
算式

袖丈  $16, \times 2 = 32,$   
 $78, + 32, = 110,$

身丈  $26, \times 3 = 78,$   
 $110, - 2, = 108,$  用布  
 衿下

方積及方裁の身つて以を布の寸三尺一幅○

圖二十七第



衿幅二寸  
袖丈一尺五分  
身丈二尺五分  
衿丈三尺六寸  
衿幅一寸五分  
衿肩一寸  
衿下二尺

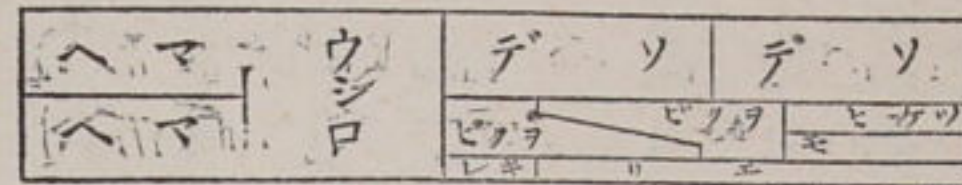
算式

袖丈  $15, + 25, = 40,$

身丈  $40, \times 2 = 80,$  用布

方積及方裁身つて以を尺八さ長幅常○

圖九十六第



衿幅一寸五分  
袖丈一尺五寸  
身丈二尺八寸  
衿丈六尺八寸  
衿幅三寸五分  
袖幅五寸  
附紐一尺五寸

算式

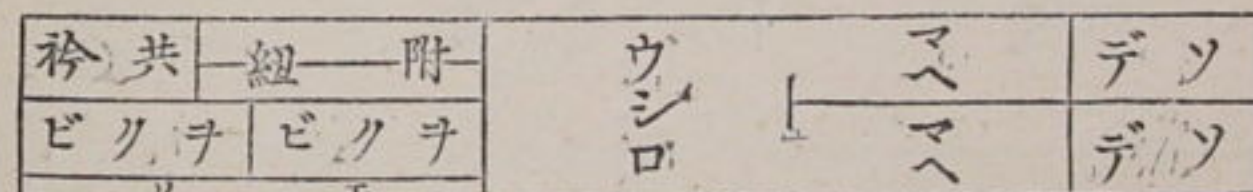
袖丈  $10, \times 4 = 40,$

總丈  $80, - 40, = 40,$

$40, \div 2 = 20,$  身丈

方積及方裁身つて以を布の幅常○

圖十七第



衿下二寸  
衿丈一尺八寸  
衿幅三寸五分  
衿丈三尺六寸  
衿幅一寸五分  
衿肩一寸  
身丈二尺  
袖丈一尺二寸

算式

袖丈  $12, \times 2 = 24,$

身丈  $20, \times 4 = 80,$

$80, + 24, = 104,$

$104, - 4, = 100,$  用布  
 衿下の二倍

○幅一尺一寸長さ一丈の布を以てつる身裁の方積及

第三十七圖

ヘ	マ	ウ	デ	ソ	デ	ソ
ヘ	マ	ウ	レ	キ	ビ	ク
リ	エ	モ	リ	エ	モ	ヒ
共	衿	身	衿	衿	袖	附
衿	肩	丈	丈	丈	丈	紐
一	一	二	四	五	一	丈
尺	寸	尺	尺	尺	尺	二
九		四			三	尺
寸		寸			寸	八
						寸

算式  
 袖丈 13, × 4 = 52,  
 100, - 52, = 48,  
 48, ÷ 2 = 24, 身丈

袖付を右になして、左の袖は自己の向ふに返し、右の袖は自己の次に表袖幅の印を付け、裏はそれより六分廣く印を付け、次に表

○一つ身綿入の縫方。  
 先づ裏袖に、表袖より幅六分廣くなる様に袖口を掛け、其縫目は袖口の方に返して、懸絲を懸け、次に袖下は袖口の縫目を能く合せて縫ひ、袖付を右に持ち、左の袖は自己の方に折をつけ、右の袖は、是に反し、次に表袖を縫ひ、折目は

身頃を取り、後幅と肩幅との印を付け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方に返し、次に前幅と抱の幅との印を付け、又折を付け、其所に衿を揃へ、待針を刺して左右とも裾口より縫ひ、折目は衿の方に返し、次に衿を付け、其の縫目は、衿の方に返し、次に表衿幅の端に、裏衿を縫ひ付け、折目は、裏衿の方に返し、懸絲を懸け、次に裏の身頃を取り、後幅と肩幅との印を付けて、脇を縫ひ、折目は前身頃の方に返し、次に前幅と抱の幅との印を付けて、其所に折を付け、その折と衿の折とを揃へて之を縫付け、其縫目は衿の方に返し、然る後表と裏との裾口の縫目を揃へ、待針を刺して裾を縫ひ、その縫目に五厘きせを掛けて表の方に折を付け、又懸絲を懸け、次に表袖をつけ、縫目は袖の方に返し、次に裏袖をつけ、その縫目は身頃の方に返すなり。

但袷を縫ふには、裏を自己の方に、表を自己の向ふにして縫ふなり。裾口と裾下  
とに羨糸を懸け、又熨を懸け、然る後縫目を正しくなし、夜着疊とするなり。

○一つ身綿入の綿の入方。

先づ袖口の綿と裾綿とを拵へ、次に裏は疊み置ききて表を引伸し  
後の方を見て其の上に双方二寸位づゝ長く綿を置き、次に裾口  
と袖口とに襷綿よきをくるみ、襷よきのふき工合を見て双方の縫目を揃  
へて裏を引伸し、又裏の前身頃に綿を置き、次に前の方より袂に  
手を入れ、袖口と袂たもとを共に持ち引返して、裾口も表の前より手  
入れ、脇縫ひと裾先とを持ち引返して双方正しく引合すなり。

○一つ身綿入の拵方。

三つ衿に待針を刺し、双方引合せて、袖口を四分折り、針目を一寸  
位にして綿を縊り付け、襷よきを二分と定めて、縫目を合せ、表を少し

く緩ゆるくして拵付け次に裏表の袖幅を揃へ、やつ口及身のやつく  
ちの所は、裏の方に綿をくるみ、袖下の縫目を合せ、やつくち及身  
やつ口を拵付け、次に裾の縫目より一分五厘程上の方に襷よき綴を  
なし、又衿の縫目及脇の縫目を表裏合せて衿下止りまで綴ぢ、衿  
幅を揃へて折を付け、裾下を拵付け、次に衿先の所は注意して表  
と裏とを共に綴ぢ、衿幅の印を付け、衿先は一分中を縫ひ、折目は  
裏の方に返して衿を拵付け、次に附紐及び守縫まもぬいを付け、然る後之  
を疊み置くなり。

但綿を入れる、前に、八つ口を縫ふも宜し、又襷綴の仕方は、縫目縫目は一針宛返  
し針になして止め、前幅の間にて裏に二針、表は其倍づゝ出し、後は裏に五つ針、  
表は其の倍になし、縫目の針は數に入れずして綴るなり。

注意。綿入物の裏の裁方は、襷よきの二倍だけ裏を長くし、他は表

に比べて裁つものなれば、茲に之を畧す。

附言。一つ身綿入重ねのときは、上着より下着の寸法を左の如く短縮すべし。

袖丈は袖口にて四分、袖付にて三分、(即袖下にて一分斜になす)袖付一分、袖幅上着と同じ、身丈一分、後幅一分、(ひろげて二分)衿肩一分、前幅二分、衿幅は襖三分以上の時は一分つめ、三分以下のときは上着と同じ、裾下上着と同じ、衿丈三分(左右にて六分)衿幅同じ、行一分。

○三つ身を仕立つる寸法。三つ身は三歳より五六歳位迄の子供の服なり身丈二尺七八寸、袖丈一尺三寸乃至一尺五六寸、袖付四寸五分或は五寸、袖口同じ、袖幅七寸内外、身幅及衿幅一ばい、相裾二分つめ、衿下三寸、衿下七寸、衿幅一寸、襖三分位。

身八つ口二寸五分、

○三つ身單の縫方。

三つ身の單衣を縫ふには、先づ脊を袋縫になす、其の餘は一つ身の單衣と異なる事なし。

○三つ身衿の縫方。

三つ身衿の縫方は、先づ裏袖に袖口を掛け、次に裏袖を自己の向ふに、表袖を自己の方に持ち、口明の印を合せ、表と裏とを少しゆるくして、袖口の切を引きつり、待針を刺して、之を縫ひ、折目を表の方に返し、次に口明の所を持ち、(但その持方は右の袖は裏を自己に、左の袖は表を自己の方に)四枚共に之を止め、それより袂の角迄縫ひ、次に袖幅の印を付け、八つ口を縫ひ、(但裏幅を五厘縫ひ込み)折目は裏の方に返し、袖下は四枚共に縫ひ、折目は表の方に返し、袂の所の縫込は、初袖下を折り、次に

豎を折り、之を縫ひ付け引返し、縫目を正しくして、襷糸を掛け、次に身頃を取り、衿肩を右とし、脊を縫ひ、折目は自己の方に返し、下に置き、後幅と肩幅との印を附け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方に返し、次に前幅及び抱幅の印を附け、又折を付け、其所に衿を揃へ、待針を刺し、左右共下より衿を附け、折目は衿の方に返し、次に裏の身頃を取り、衿肩を右に持ち、脊を縫ひ、折目は、自己の向ふに返し、次に後幅と肩幅との印を附け、脇を縫ひ、折目は、前身頃の方に返し、次に前幅及び抱幅の印を附け、又折を付け、其所に衿を揃へ、待針を刺し、左右共裾より衿を附け、折目は衿の方に返し、次に表と裏との裾口の縫目を能く揃へ、待針を刺し、裾を合せ、折目は、五厘きせを懸けて、表の方に返し、其所に襷をかけ、裾は左右共匿襷糸を懸け、襷綴をなし、次に裏と表との間にて、脊と脇の縫目を綴

ぢ、次に身の八つ口を表と裏とを合せて縫ひ、又袖付の所は、袖と身頃とを四枚共に止め、表袖を縫ひ付け、折目は、袖の方に返し、次に裏袖を縫ひ付け、折目は、身頃の方に返し、次に衿の縫目を綴ぢ、裏表の衿幅を揃へ、折を付け、裾下を縫ひ、(但裏幅五を厘縫ひ込み)引返し正しくなして、衿先きを裏と表と身頃と共に綴ぢ、次に脊より左右に衿を付け下し、衿幅の端に裏衿を縫ひ付け、折目は裏衿の方に返し、襷糸を掛け、衿幅の印を付け、衿先は、一分中を縫ひ、折目は裏の方に返し、三つ衿に切きを入れ、衿を紵付け、然る後之を疊み置き、くり、但襷綴ぢの針數は一針置きに裏に出して、前幅の間にて裏に二針、後幅にて三針出し、表は此倍づゝ出すなり、綿入も亦おなじ。

○三つ身綿入の縫方。

先づ裏袖に、表袖より袖口の所にて、幅六分廣くなる様に袖口を懸け、次に袖付を右とし袖下より口明迄縫ひ、口明の所は、裏を少しゆるく、袖口を少し引つりて、絲止をなし、袖付の方を右に持ち、左の袖は自己の方に縫目を返し、右の袖は自己の向ふに縫目を返し、次に表袖の裏の方を見て、袖付の方を右に持ち、袖下より口明迄縫ひ、能く絲止めをなし、袖付を右に持ち、左の袖は、自己の向ふに縫目を返し、右の袖は、自己の方に縫目を返し、左の袖は、袖付の方より、口明の廻りに、躰絲を掛け、右の袖は、口明の所より袖付迄、躰絲を掛けて下に置き、袖幅の印を付け、裏の袖幅は、袖口より下を表より一分つめて印を付け、袖山の所は表より六分廣く印を付け、袖下の縫目を裏表揃へて待針を刺し、袖附印より印まで、裏を引つり、表をゆるくしてやつを縫ひ、折は裏に返し、綿を幅一寸位に切り、綿幅の中央と縫目と揃へ、綿の引つらぬ様に綴付け、

引返し、表より躰を掛け、次に表の身頃を取り、衿肩を右に持ち、脊を縫ひ、折目は自分の方に返し、後幅と肩幅との印を付け、左右共後の身頃を自己の方にし、脇縫をなし、折目は前身頃の方に返して下に置き、裾口と抱及其真中とに印を付け、又折を付け、其所に衿を揃へ、左右共裾より衿を縫付け、折目は衿の方に返し、次に脊より左右に衿を附下し、(世衿下の邊は衿をゆるくす)其折目は、衿の方に返し、表の衿幅の端に裏衿を縫ひ付け、折目は裏衿の方に返し、次に裏の身頃を取り、衿肩を右に持ち、脊を縫ひ、折目は、自己の向ふに返し、次に下に置き、後幅と肩幅との印を付け、其所に折を付け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方に返し、次に表に、従ひて、前幅の印を付け、其所に衿を揃へ、待針を刺し、左右共裾より衿を付け、折目は衿の方に返し、次に表と裏との縫目を揃へ、裾口を二分の縫代に縫ひ、折目は五厘のきせを懸け、表の方に返し、針目を五分位にして裾

口と裾下とに麩絲を掛け、裾にかくし麩絲をかけ、次に身やつくちを縫ひ、裏に綿を綴ち付け、次に袖を四つ止になし、身頃の方を一分の縫代になして、表の袖を付け、折目は、袖の方に返し、次に裏袖を付け、縫目は、身頃の方に返し、裏袖の幅に縫込あるときは、一分の縫代になして付ける。次に總ての縫目を正しくして、夜着疊となすなり。

○三つ身綿入の綿の入方。

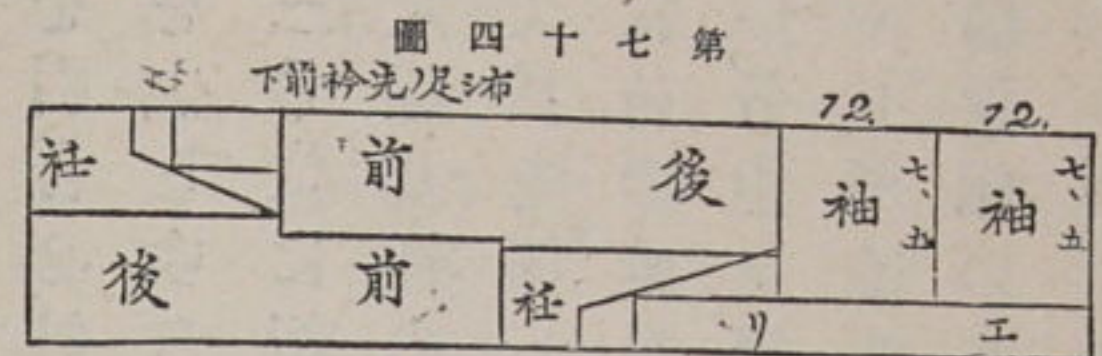
綿を入れるには、裏は疊み置き、表を引き伸し、後の方を見て、裾口より二三寸長く綿を置き、裾口と袖口とに襷綿をくるみ、襷の工合を見て、縫目の揃ふ様に、表の方に裏を引き伸し、裏の前に綿を置き、表の前の方より袂に手を入れ、袂と袖口とを共に持ち、返し、裾口も表の前の方より手を入れ、脇縫の所を持ち、右手にて、裾先を持ち、引返して、雙方引合せ、之を夜着疊となすべし。

○三つ身綿入の紵方。

先づ裏と表との脊縫を合せ、三つ衿の所へ待針を刺し、行と丈とを引合せ、針目一寸位にして袖口に綿を縊り付け、口明の所は、表を少しゆるくして、裏と表とを共に止め、襷を二分にし、針目を二三分位に紵付け、次に裾襷を定めて、襷綴ちをなし、次に脊脇を一尺程及衿の縫目を衿先の所まで綴ち、表衿と裏衿との幅を合せて折を付け、裏の方は、衿先の所を二針綿を縊りて、裾下を紵け、次に衿の縫目の所は、裏と表とを共に綴ち、衿幅の印を付け、衿先は一分中を縫ひ、縫込のある所は、綿を薄くし、縫込のなき所は、綿を少し厚くして、衿を紵付け、然る後正しく疊み置くなり。

○常幅の布を以て三つ身筒袖の裁方及積方。(第七十四圖)

但袖丈六寸、身丈二尺八寸、衿下二寸五分。



圖四十七第

袖幅七寸五分  
袖丈六寸  
衿のたし布丈  
一尺三寸  
裾下一尺  
衿幅三寸五厘

算式

袖丈 6, × 4 = 24,  
身丈 28, × 3 = 84,  
24, + 84, = 108, 用布

○常幅長さ一丈三尺五寸五分の  
布を以て、三つ身の裁方及積方。

(第七十五圖)

但袖丈一尺四寸、身丈二尺六寸五分。

然る後三つ折にせし真中の切を半幅に豎に斷ちて前身頃とし、次に衿肩を一寸七分として、脊の端より幅三寸五厘切り取り、之

を左右の衿とすべし。



圖五十七第

袖丈一尺四寸  
袖幅七寸五分  
衿幅二寸  
衿丈四尺五寸  
身丈  
二尺六寸三分  
算  
衿肩一寸七分  
前幅  
四寸七分五厘  
後幅  
六寸四分五厘  
衿幅  
三寸五厘

式

袖 14, × 4 = 56, 135,5 - 56 = 79,5 79,5 ÷ 3 = 26,3 身丈

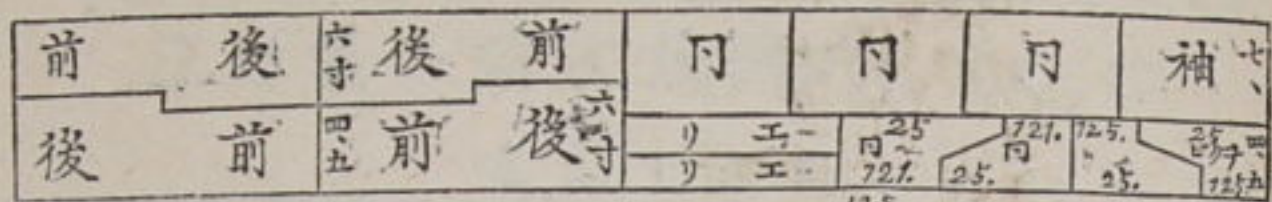
○幅一尺二寸、長さ一丈五尺四寸の片面物を以て、這送り、三つ身の裁方及積方。(第七十六圖)

但袖丈一尺六寸。

裁方、先づ一丈五尺四寸の中より、六尺四寸を切り、其片端より幅三寸裁落して衿となし、廣き方を兩袖となし、残れる九尺の切を三つ折にして、其折目の所を一つは、自己の向ふの方より幅六寸七分五厘切り、一つは自己の方より幅六寸七分五厘切り、之を三つ折にし、真中の切は一



圖七十七第



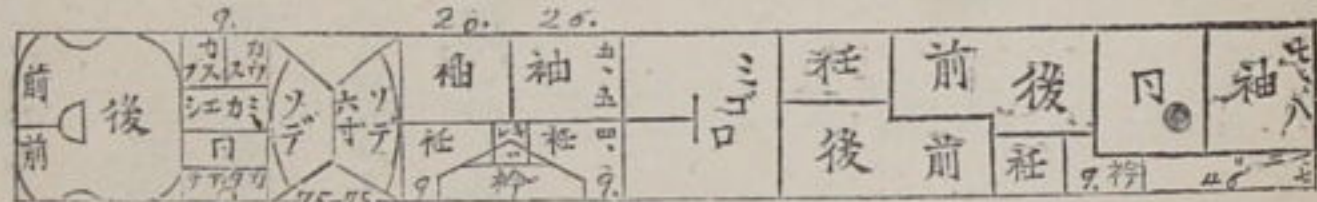
袖丈一尺六寸  
 袖幅九寸  
 袖幅三寸  
 袖丈五尺一寸  
 身丈三尺  
 後幅六寸七分五厘  
 前幅五寸二分五厘  
 衿肩一寸五分  
 衿幅五寸二分五厘  
 二衿丈一尺五寸  
 二裾丈一尺五寸  
 二裾下五分尺  
 四衿丈五寸  
 一衿肩一寸五分  
 二身丈一尺六寸

算式

袖丈 15, × 8 = 120, 224, - 120, = 104, 104, ÷ 4 = 26, 身丈

○ 常幅二丈八尺の布を以て三つ身つ  
 一枚の身幅六尺五寸の袖一枚の  
 シヤツ一枚の裁合及積方

圖八十七第



袖丈一尺五寸  
 袖幅一寸七分  
 衿幅一寸七分  
 身丈一尺九寸  
 二身丈一尺九寸  
 三身丈一尺九寸  
 前幅一寸七分  
 後幅一寸七分  
 衿肩一寸五分  
 衿幅一寸五分  
 裾丈一尺九寸  
 裾幅一寸五分  
 袖丈一尺六寸  
 袖幅九寸  
 衿幅一寸五分  
 身丈一尺九寸  
 二身丈一尺九寸  
 三身丈一尺九寸

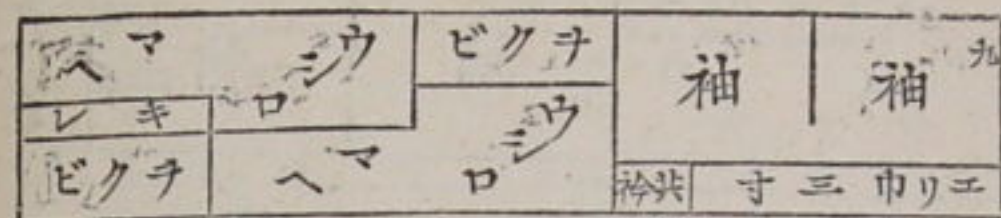
算式

三つ身積方、一つ身積方  
 袖 15, × 4 = 60,  
 140, - 60, = 80,  
 80, ÷ 3 = 26, 6身丈  
 袖 13, × 4 = 52,  
 90, - 52, = 38,  
 38, ÷ 2 = 19, 身丈

シヤツ積方  
 袖 7, 5 × 2 = 15,  
 50, - 15, - 9, - 1, = 25,  
 25, ÷ 2 = 12, 5前丈  
 12, 5 + 1, = 13, 5後丈

(但三つ身の用布半反一  
 つ身を九尺と見積る)

圖六十七第



袖丈一尺六寸  
 袖幅九寸  
 袖幅三寸  
 袖丈五尺一寸  
 身丈三尺  
 後幅六寸七分五厘  
 前幅五寸二分五厘  
 衿肩一寸五分  
 衿幅五寸二分五厘  
 二衿丈一尺五寸  
 二裾丈一尺五寸  
 二裾下五分尺  
 四衿丈五寸  
 一衿肩一寸五分  
 二身丈一尺六寸

算式

袖 16, × 4 = 64, 154, - 64, = 90,  
 90, ÷ 3 = 30, 身丈

積方。袖丈の四倍を總尺より減じ三  
 除せば、身丈を得るなり。  
 ○ 幅一尺五分、長さ二丈四尺四寸の  
 片面物を以て、三つ身二枚の裁方  
 及積方。(第七十七圖)  
 積方。袖丈の八倍を總尺より減じ、殘  
 りを四にて除せば身丈を得るなり。

つを幅六寸七分五厘、一つを幅五寸二分五厘に裁ちて後と前と  
 の身頃となすなり。

但幅の廣狹によりて、前後の身幅異なる故、片面物の三つ身の身頃を裁つとき  
 は幅の真中より、衿肩一寸五分ならば、七分五  
 厘裁込むなり。

身つ三て以を物面片の尺二幅〇  
方積及方裁の

圖一十八第

八 三 寸	身	六 五	デ	ソ	八 五
五 三 寸	頃		デ	ソ	八 五
五 三 寸	ビクヲ	リコノ	リ	エ	三

八身寸丈二尺  
七袷分肩一寸

八袷寸丈四尺  
五袖寸丈五分尺

算式  
袖 身丈  
 $15,5 + 2,5 = 43,5$   
 $43,5 \times 2 = 87$  用布

積方。袖丈と身丈とを合せ之を二倍すれば用布を得。

方裁の身つ三ては物面片幅並〇  
方積及

圖二十八第

六 四 五 寸	ビクヲ	袷前	袷前	ビクヲ	六 五	袖	袖	七 八
六 四 五 寸	後	前	前	身後	六 五	レキ	リ	エ

七袷分肩一寸  
八袷分肩七寸  
六袷寸丈四尺  
四身寸丈五分尺  
袖寸丈一尺

算式  
袖  $14 \times 4 = 56$   
身丈  $26,5 \times 3 = 79,5$   
 $56 + 79,5 = 135,5$  用布

積方。袖丈の四倍と身丈の三倍とを合すれば用布を得なり。

て以を物面片の尺八さ長尺二幅〇  
方積及方裁の身つ三

圖九十七第

リコノ	デ	ソ	デ	ツ	七 五
袷		ヘマ		頃身後	八 五
袷		リ	ヘマ		三

七袷分幅四寸  
六袷分幅四寸  
前袷分幅四寸  
六袷分幅四寸  
五袷分幅四寸

算式  
總尺  $80 + 2 = 82$   
身丈  $82 \div 3 = 27,3$  餘  
袷下 袷丈  $27,3 - 2 = 25,3$

積方。總尺に袷下二寸を加へ、三除せば身丈を得、身丈より袷下を減ずれば袷丈を得るなり。

を物面兩の寸四尺八さ長尺二幅〇  
方積及方裁の身つ三て以

圖十八第

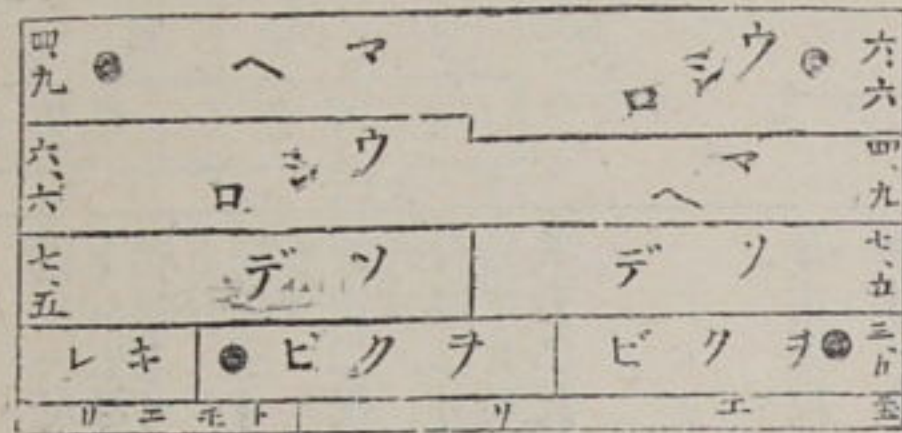
レキ	デ	ソ	デ	ツ	七 五
ビクヲ		前		後	六 五
後		前		ビクヲ	六 五

七袷分幅三厘  
六袷分幅三厘  
八袷分幅三厘  
六袷分幅三厘  
八袷分幅三厘

算式  
總尺  $84 \div 3 = 28$  身丈

布の寸八尺五さ長寸五尺二幅○  
方積及方裁の身つ三て以を

圖五十八第



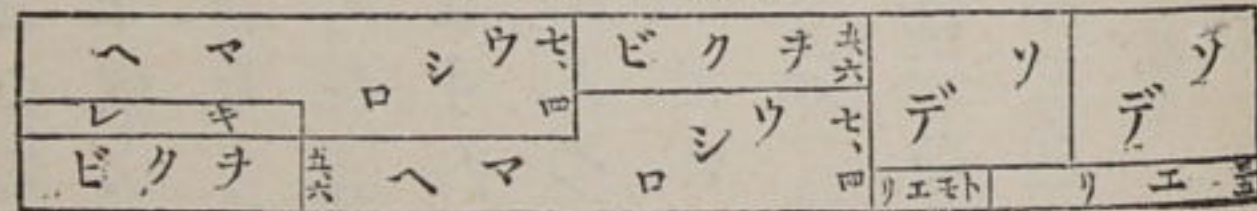
七給一共九身五衿六衿五衿  
分肩寸衿寸丈分幅寸丈分幅  
一寸 一尺 二尺 三尺 四寸 二寸  
算 式

$58, \div 2 = 29, \text{身丈}$

$58, \div 4 = 14,5 \text{袖丈}$

面片の尺五丈一さ長寸三尺一幅○  
方積及方裁の身つ三て以を物

圖六十八第

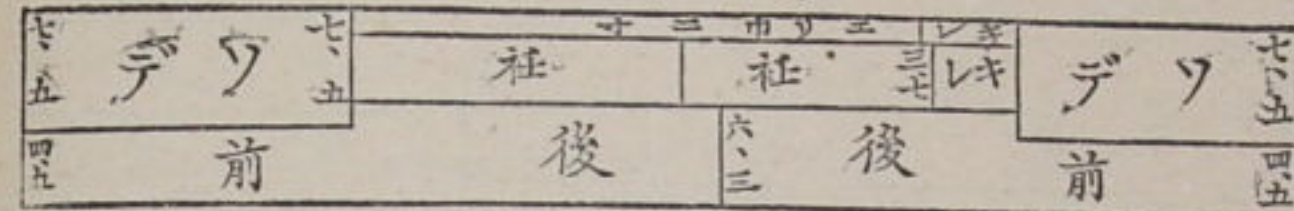


八衿  
分肩一寸  
六衿六袖五袖五衿五衿  
分幅寸丈分幅分幅寸丈  
五寸 一尺 九寸 三寸 四寸  
算 式

$16, \times 4 = 64, \quad 150, - 64, = 86, \quad 86, \div 3 = 28,6 \text{餘}$

以を尺二丈一さ長寸二尺一幅○  
方積及方裁の身つ三て

圖三十八第



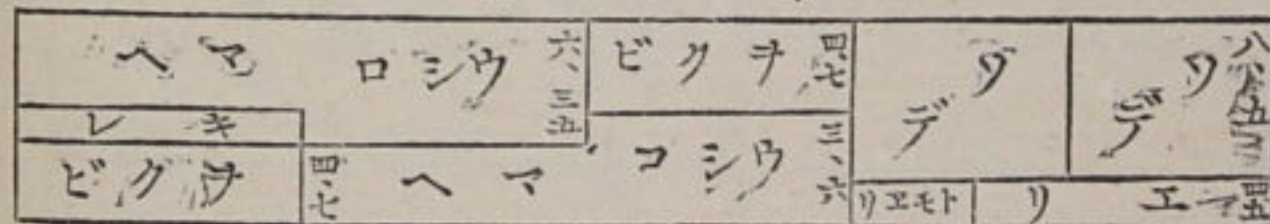
三衿七衿八衿八衿  
寸丈分幅寸丈  
五尺 三寸 二尺  
八衿八衿  
分肩一寸 身丈三寸  
袖丈二尺

算 式  
 $120, \div 4 = 30,$   
 $30, \div 2 = 15,$

積方。總尺  
を四除せば  
身丈を得。  
身丈を二除  
せば袖丈を  
得。

片の尺四丈一さ長寸一尺一幅○  
方積及方裁の身つ三ては物面

圖四十八第



七前  
分幅四寸  
六衿  
分肩一寸  
餘六身三後七衿五衿  
寸丈分幅分寸丈分幅  
六分 六寸 四尺 二寸

算 式  
 $15, \times 4 = 60,$   
 $140, - 60, = 80,$   
 $80, \div 3 = 26,6 \text{餘}$

片の尺三丈一さ長寸三尺一幅  
方積及方裁身つ三て以を物面

圖七十八第

マ	ウ	デ	ソ	デ	ソ	七 五
ヘ	シ	レキ	ビクヲ	ビクヲ	エ	七 五
		リニモト	リ	エ		三

袖丈 七寸一分  
袖幅 五寸七分  
身丈 三尺  
衿幅 二寸五分  
衿長 一尺二寸  
前身幅 八寸二分  
前身長 五尺二寸  
後身幅 五寸七分  
後身長 五尺二寸  
袖幅 七寸五分  
袖長 一尺二寸

算式  
袖丈  $17,5 \times 4 = 70$ , 共衿幅  $130 - 70 = 60$ ,  $60 \div 2 = 30$  身丈

○四つ身を仕立つる寸法。

(四つ身は四五歳より七歳位迄の子供の着物なり。)

身丈三尺内外、袖丈一尺五寸内外、袖附及袖口、各五寸内外、袖幅七寸五分内外、身の八つ口二寸五分、身幅及び衿幅、一ばい、衿下三寸五分、衿幅一寸一分、相裙二分つめ、衿三分、衿なれば一分五厘なり。

○常幅の布を以て、四つ身の裁方及

積方。(第八十八圖)

但袖丈一尺四寸、身丈二尺八寸五分。

圖八十八第

マ	ウ	ウ	マ	袖	袖
ヘ	シ	シ	ヘ	ビクヲ	ビクヲ

袖丈 四寸一分  
袖幅 七寸七分  
身丈 三尺  
衿幅 二寸五分  
衿長 一尺二寸  
前身幅 八寸二分  
前身長 五尺二寸  
後身幅 五寸七分  
後身長 五尺二寸

算式  
袖丈  $14 + 28,5 = 42,5$ ,  $42,5 \times 4 = 170$  用布

後身頃

圖九十八第

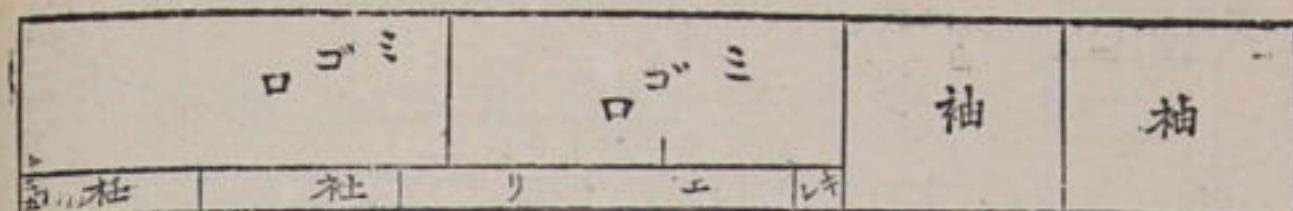


裁方。一丈七尺の中より、五尺六寸切りて、兩袖となし、残りの切を丈四つ折にし、衿肩を三寸八分切り、其裾口の輪になる方を後とし、其所を衿肩より幅二寸豎に断ちて衿とし、前身頃の方に衿肩より眞直に折を附くるなり。

積方。袖丈と身丈とを合せて四倍すれば、總尺を得るなり。

○通常四つ身の衿に印の付け方。(第八十九圖)

第九十圖



袖丈一尺  
 袖丈一尺  
 五寸五分  
 五寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分  
 六寸五分  
 六寸五分  
 七寸五分  
 七寸五分  
 五寸五分  
 五寸五分

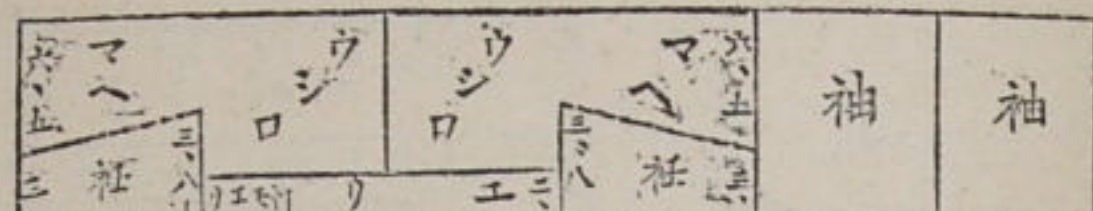
算式  
 袖丈 身丈  
 $14 + 28 = 42$   
 $42 \times 4 = 168$  用布

前身頃の方は、衿肩より裾口迄、真直に印を付け、裾口に於て、その印より三分離れし所に印を付け、裾下の方は、端より二分の所に印を付け、單物ならば、裾口を五分の縫代として印を付け、その印の所より裾下の印を付け、相裾は裾口より幅二分つめて印を付け、次に衿下三寸五分と印し其所にて縫ひ代を八分取り、次に衿下より裾下まで圖の如くに印を付け、而して前身頃の點線と衿の點線とを合せて縫ふなり。

○常幅の布を以て、四つ身車裁の裁方及積方。(第九十圖)

但袖丈一尺四寸、身丈二尺八寸。

第九十一圖



袖丈一尺  
 袖丈一尺  
 八寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分  
 八寸五分

算式  
 袖丈 身丈  
 $15 \times 4 = 60$   
 $180 - 60 = 120$   
 $120 \div 4 = 30$  身丈

○幅一尺三寸五分、長さ一丈二尺五寸の布を以て、四つ身の裁方

積方。袖丈に身丈を加へ、四倍すれば用布を得るなり。

○常幅長さ一丈八尺の布を以て、四つ身逆衿の裁方及積方。(第九十一圖)

積方。袖丈を四倍して、總尺より減じ、之を四除すれば身丈を得るなり。

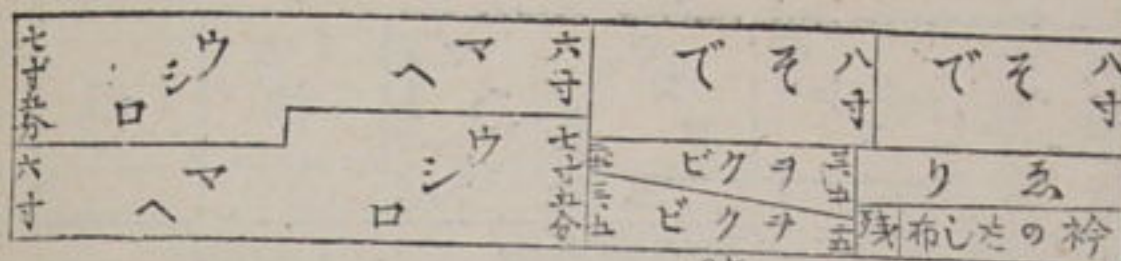
此衿の裁方は幅の廣き方を裾口に、狭き方を上とし、布の斜の方を身頃に縫ひ附くるなり。

(前衿裁は十二三歳より十四五歳まで着する服なり。)

及積方。(但兩面染の物) (第九十二圖)

但身丈二尺八寸

圖二十九第



袖丈一尺二寸  
 七寸二分  
 五厘  
 四尺  
 三寸  
 二寸  
 二尺  
 二寸  
 五寸  
 三寸  
 二寸  
 三寸  
 八寸  
 二寸  
 八寸  
 一寸  
 八分  
 後幅七寸  
 五分  
 前幅六寸

算式

身丈 28, × 2 = 56,  
 總尺 125, - 56, = 69,  
 69, ÷ 4 = 17,25 袖丈

積方。身丈の二倍を總尺より減じ、其残りを四除せば、袖丈を得るなり。

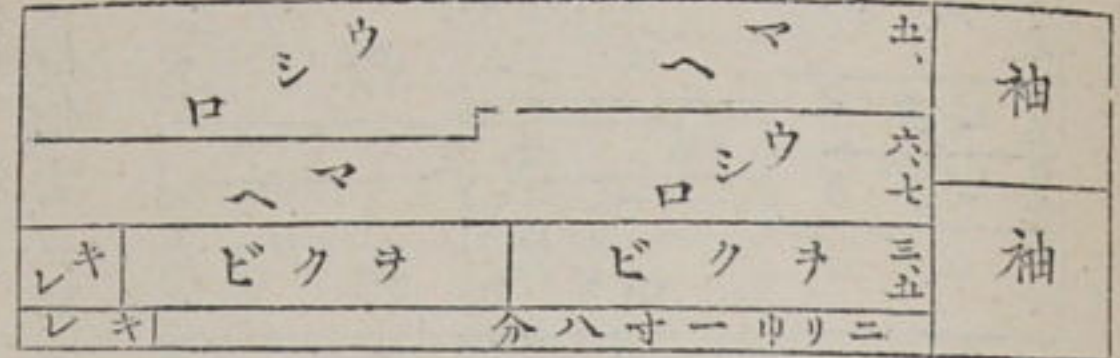
○幅一尺七寸の布を以て四つ身の裁方及積方。(第九十三圖)

但袖丈一尺五寸、身丈三尺にて兩面物。

積方。袖丈に身丈を加へ、之れを二倍すれば用布を得るなり。

○幅二尺七寸長さ六尺の布を以て、四つ身の裁方及積方。(但兩面物) (第九十四圖)

圖三十九第

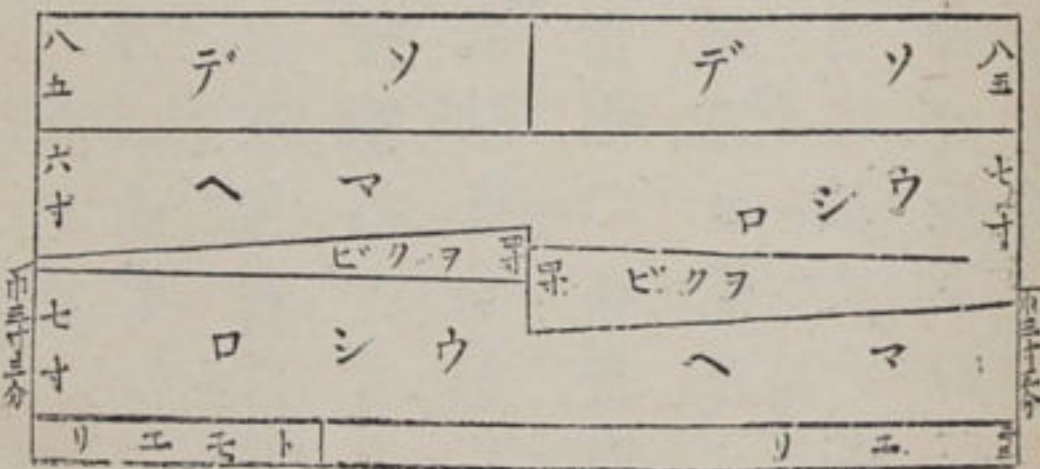


袖丈一尺  
 五寸八分  
 五寸  
 三寸  
 二寸  
 三寸  
 八寸  
 二寸  
 八寸  
 一寸  
 八分  
 後幅六寸  
 七分  
 前幅五寸

算式

袖 15, + 30, = 45,  
 身 45, × 2 = 90, 用布

圖四十九第



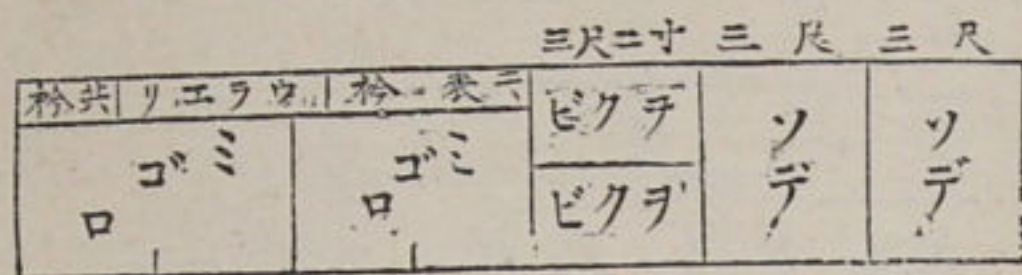
袖丈一尺  
 五寸八分  
 五寸  
 三寸  
 二寸  
 三寸  
 八寸  
 二寸  
 八寸  
 一寸  
 八分  
 後幅六寸  
 七寸  
 前幅五寸

算式

總尺 60, ÷ 4 = 15, 袖丈  
 總尺 60, ÷ 2 = 30, 身丈

積方。總尺を四にて除せば袖丈を得、又總尺を二にて除せば身丈を得るなり。

圖六十九第



袖丈一尺五寸  
 衿丈三尺二寸  
 衿半幅  
 衿丈五尺八寸  
 衿肩二寸  
 身丈三尺五寸

算式

$$15 \times 4 = 60,$$

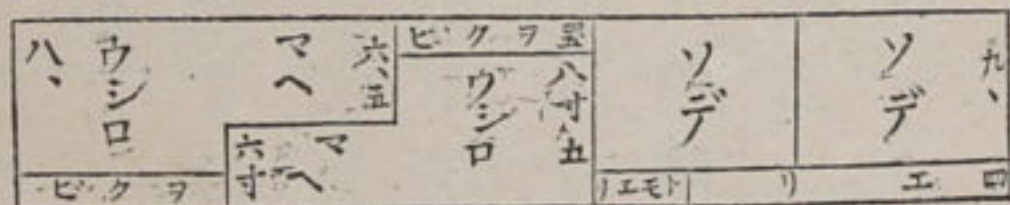
$$60 + 175 = 235,$$

$$35 \times 5 = 175,$$

$$235 - 3 = 232, \text{用布衿下}$$

○幅一尺三寸長さ二丈を以て中  
 (物面兩但)方積及方裁の袖振裁

圖七十九第



袖丈二尺二寸  
 衿幅四寸  
 衿丈五尺五寸  
 身丈三尺七寸  
 三分餘  
 衿巾四寸五分

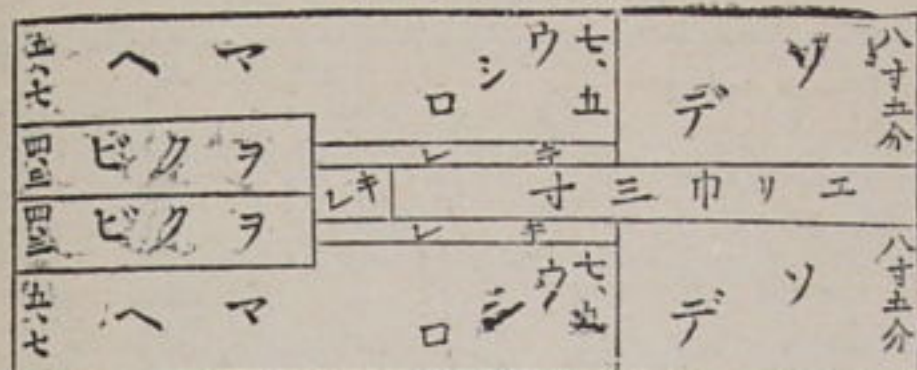
算式

$$22 \times 4 = 88,$$

$$112 \div 3 = 37, 3 \text{余}$$

$$200 - 88 = 112,$$

圖五十九第



袖丈一尺  
 身丈一尺三寸  
 衿丈一尺五寸  
 衿幅三寸  
 衿幅四寸  
 衿幅五分  
 前三分

算式

$$16 \times 2 = 32,$$

$$62 \div 2 = 31, \text{身丈}$$

$$94 - 32 = 62,$$

積方。袖丈の二倍を總尺より減じ二にて除せば、身丈を得るなり。但後幅は、七寸五分に裁落すか、或は縫込み置くもよろし。

○常幅の布を以て、別衿の四つ身の裁方及積方。袖丈の四倍と身丈の五倍とを合せ、衿下の三寸を減ずれば用布を得るなり。

○幅二尺長さ九尺四寸のフランネルを以て、四つ身の裁方及積方。(但片面物)  
 但袖丈一尺六寸。

圖九十九第

衿	六	リ	エ	巾	二	寸
レ	衿	衿	袖	袖	九	寸
前	後	二	二	九	寸	寸
前	後	二	二	九	寸	寸

衿幅二寸  
衿丈五尺二寸  
衿丈二尺九寸  
衿幅四寸  
身丈三尺一寸  
衿肩一寸八分  
袖丈一尺五寸

袖 身丈  
15, + 31, = 46,  
式  
46, × 2 = 92, 用布

方裁の裁襟前で以を布の幅常○  
方積及

寸五尺三丈身 分五寸四尺一丈袖但  
寸三下衿  
(りな方裁るす當相に人の歳五十は裁衿前)

圖百第

ビク	ウ	マ	ハ	袖	袖
ク	シ	ヘ	ユ	袖	袖
ナ	ロ	キ	キ	袖	袖
レ	キ	キ	キ	袖	袖

二衿衿  
寸長下  
三三  
尺寸  
五前五後衿五身衿  
分幅分幅幅寸丈肩  
六八三二二  
寸寸寸尺寸寸  
算 式

袖 身丈  
14,5 × 4 = 58,  
175, + 58, = 233,  
式  
35, × 5 = 175,  
233, - 3, = 230, 用布  
衿下

圖八十九第

社	前	後	七	デ	ハ
社	後	前	六	ソ	ハ
リ	コ	ノ	三	デ	ハ

衿肩一寸八分  
衿幅二寸五分  
衿丈五尺  
袖丈一尺五寸  
五前幅五寸八分  
五後幅七寸六分  
五袖分

算 式

15,5 × 2 = 31,  
89, + 2,5 = 91,5  
衿下  
30,5 - 2,5 = 28, 衿丈  
120, - 31, = 89,  
91,5 ÷ 3 = 30,5 身丈

○幅一尺六寸長さ一丈二尺の布を以て四つ身の裁方及積方(但両面物)  
積方。袖丈の二倍を總尺より減じ、其残りに衿下を加へ、三にて除せば身丈を得、身丈より衿下を減ずれば衿丈を得るなり。  
○幅二尺の布を以て、四つ身の裁方及積方。(第九十九圖)  
但袖丈一尺五寸、身丈三尺一寸。  
積方。袖丈に身丈を加へ、之を二倍せば用布を得るなり。



積方。袖丈一尺四寸五分の四倍と、身丈三尺五寸の五倍とを合せ、衿下の三寸を減じて總尺を得るなり。

○男裃纏を仕立つる寸法。

身丈二尺二寸乃至四五寸、袖丈一尺三寸乃至、同四五寸、袖口七寸五分乃至八寸、袖幅九寸位、後幅八寸、肩幅八寸五分、前幅衿肩より眞直、前下五分、衿幅一寸六分出來上り。

○女裃纏を仕立つる寸法。

身丈二尺三寸乃至五六寸、袖丈一尺五寸乃至六七寸、袖口六寸乃至六寸五分、袖幅八寸七八分、袖付六寸乃至八九寸、後幅七寸五分、肩幅七寸七八分、前幅衿肩より眞直、前下五分乃至一寸位、衿幅一寸四五分。

注意。裃纏の袖丈は、着物より三分長くなし、衿肩は一分廣くならずなり。

○男綿入裃纏の縫方。

先づ表袖の裏を見て、袖附を右に持ち、袖丈の印の所を縫ひ、袖口明の所は、能く糸を止め、袖形を拵へ、袖付を右に持ち、左の袖は自己の向ふに返し、右の袖は自己の方に返し、左の袖は袖下より口明の所まで、躰絲を懸け、右の袖は口明の處より始め、袖付の處まで躰絲を懸け、袖幅九寸に印を付け、次に裏袖の幅狭き時は、袖口の方に持出しの切を入れ、表袖幅より六七分廣くなる様にして袖口を掛け、又袖下を縫ひ、明を止るときは、袖口より裏の方を一分程ゆるくなし、紵代を四分にして止め、袖形を拵へ、縫目に躰絲を掛け、袖幅九寸に印を付け、袖山の方を表より六分廣く印を付け次に表身頃を取り、衿肩を右に持ちて脊を縫ひ、その折目は自己の方に返して下に置き、裾より袖付の印まで後幅八寸に印を

付け肩幅は八寸五分になして印を付け、次に脇を縫ひ、折目は前身頃の方に返し、次に袖を少しゆるくして、附の所を能く止め、身頃の方は縫込の切を一寸程の間浅く縫ひ、それより上は一分縫代になして縫付け、折目は袖の方に返し、脇の縫込は前後に開き、前の方に一分程きせをかけて縫付け、次に衿肩より真直に前幅の折を付け、身丈の印まで衿をつけ、縫目は、衿の方に返し、衿衿は豎を先に、横を後にして折をつけ、左右同様に掛け、次に衿肩を右にして裏の脊を縫ひ、折目は自己の向ふに返し、次に表に比べて後幅と肩幅との印を付け、脇を縫ひ、折目は前身の方に返し、袖を付け、折目は身頃の方に返し、次に縫目を揃へ、裾を合せ、折目は裏の方に返し、躰糸をかけて疊み置くなり。

○男綿入袴纏の綿の入れ方。

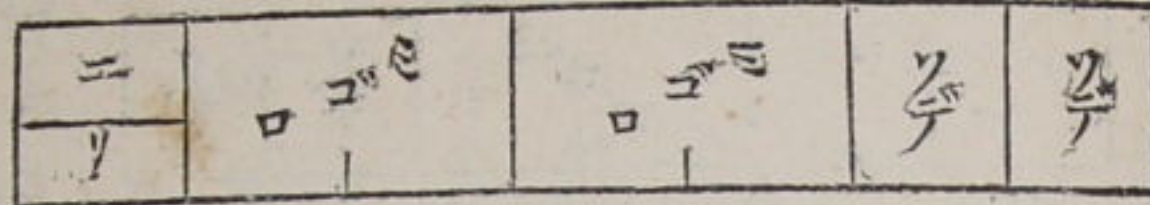
但前下は胴繼に於て付ける、故に表の脇縫をなす時に、裾口の山より前身頃を斜に縫出すべし。

綿を入るゝには裏をたゝみ置き、表を引伸し後の方を見て、綿は脊筋にて継ぎ、裾口を二三寸長く置き、裾口の印の所より、裏を表の方に引伸し、次に裏の前と袖とに綿を置き、袖口綿をくるみ前の方より、袂の中に手を入れ、袂と袖口とを共に持ちて引返し、双方引合せ、夜着疊となすなり。

○男綿入袴纏の紵方。

表と裏との脊縫を揃へて、三つ衿の所に待針を刺し、行及丈を引合せ、針目を一寸位にして、絲と綿との引つらぬ様に袖口綿を縫り付け、口明の止めは、表と裏と共に止め、襷を二分と定めて、針目を二三分位にして紵付け、次に口明より下の縫目を表と裏と一つに綴ぢ、衿幅の印を付け、衿先は一分中を縫ひ、折目は裏の方に

圖 一 百 第



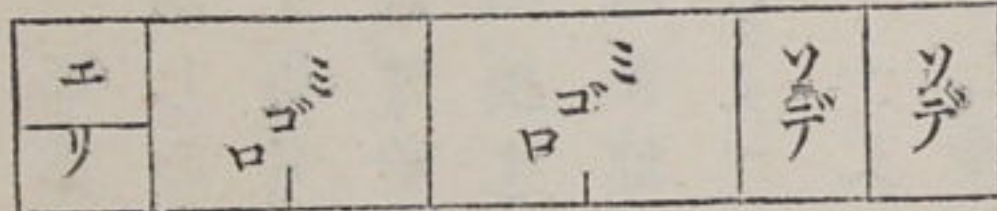
袖丈一尺四寸五分  
 身丈二尺五寸五分  
 衿肩二寸四分  
 衿先ノ切一尺  
 但衿切の中  
 は別切

算 式

$$\begin{aligned} & \text{袖丈} \quad \text{身丈} \\ & 14,5 + 25,5 = 40, \\ & 160, + 10, = 170, \text{用布} \end{aligned}$$

$$40, \times 4 = 160,$$

圖 二 百 第



袖丈一尺五寸  
 身丈二尺三寸四分  
 衿肩二寸六分  
 衿丈二尺六寸四分  
 但山繼

算 式

$$\begin{aligned} & \text{袖丈} \\ & 15, \times 4 = 60, \\ & 120, - 3, = 117, \\ & 23,4 + 3, = 26,4 \text{衿丈} \end{aligned}$$

$$180, - 60, = 120,$$

$$117, \div 5 = 23,4 \text{身丈}$$

返して衿を新付け、脊と脇との縫目を一尺程綴ぢ、然る後之を疊置くなり。

○女綿入袴纏の縫方及紵方。

女袴纏の縫方、及紵方は、八つ口を明け、又身幅等の少しく狭きのみにて、其他は男袴纏と同様なり。

○常幅の布を以て、男袴纏の表裁方及積方。(第百一圖)

但袖丈一尺四寸五分、身丈二尺五寸五分裁切。

裁方。一丈七尺の中より、五尺八寸切りて兩袖とし、次に一丈二寸断ちて身頃とし、残りの一尺を衿先となすなり。

積方。袖丈と身丈と加へて四倍し、これに衿先の一尺を加へて總尺を知るなり。

○幅九寸五分、長さ一丈八尺の布を以て、女袴纏表の裁方及積方。

裁方。一丈八尺の中より、六尺切りて、兩袖となし、次に九尺三寸六分裁切りて身頃とし、残りの二尺六寸四分を衿となすなり。

積方。袖丈を四倍して、總尺より減じ、衿肩廻しの三寸を減じ、五にて除せば、身丈を得、又身丈に衿肩廻しの三寸を加ふれば、衿丈を得るなり。

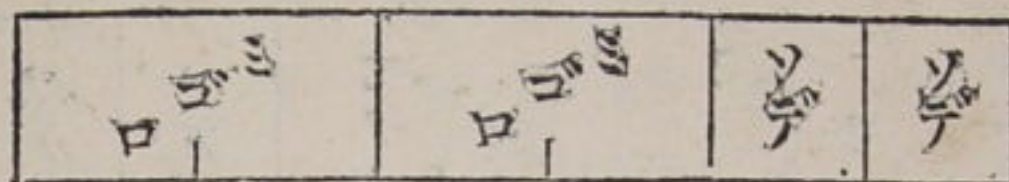
○常幅、長さ一丈五尺の布を以て、女

衿纏裏地の裁方及積方。(第百三圖)

但袖丈一尺五寸。

裁方。一丈五尺の中より、六尺裁ちて兩袖とし、残りの九尺を身頃とす。

圖三百第



袖丈一尺五寸	衿肩二寸	身丈二尺二寸五分	衿肩二寸
六分	六分	六分	六分

算式

$$\begin{aligned} \text{袖丈} & 15, \times 4 = 60, & 150, - 60, = 90, \\ 90, \div 4 & = 22,5 \text{身丈} \end{aligned}$$

積方。袖丈を四倍し、之を總尺より減じ、四にて除せば身丈を得るなり。

○子守衿纏。

子守衿纏は、一名ねんねこ衿纏とも云ふ、之を仕立つるには、身丈を二尺七八寸にして衿を付け、又表の裾口に裏を五六寸表に出し、袖口は五分位衺を出し、衿先は三寸程裏を表にふかせ、衿下七八寸にして衿衿を掛け、然る後所々を綴ずるなり。

但綿は木綿綿三百目以上を要す。

○男服を仕立つる寸法。

身丈	三尺六寸五分、	行	一尺七寸五分、	袖丈	一尺
四寸、	袖幅	九寸、	袖口	八寸、	袖付(人形袖ならば)一
尺二寸、	袖形	五六分、	後幅	八寸、	前幅
					六寸五分、

抱幅 六寸、 衽下 五寸、 衽幅 四寸、 相褻 三寸五分、  
 衽肩二寸一分。  
 衽幅 一寸六分、 衽下 一尺七寸五分、 衽 二分、(絹布  
 ならば二分五厘)  
 衽は衽 一分、 絹布ならば 一分五厘にして、衽綿を少々入  
 るゝなり。

○女服を仕立つる寸法。

身丈 四尺内外、 衽肩二寸三分、 行 一尺六寸五分、  
 袖丈 一尺五寸内外、 袖幅 八寸七分、 袖口 六寸五分、  
 袖附 七寸内外、 袖形 五六分、 身の八つ口 三寸、  
 後幅 七寸五分、 前幅 六寸、 抱 五寸三分、 衽下  
 六寸、 衽幅 四寸、 相褻 三寸五分、 衽幅 三寸、

衽下 二尺内外、 衽 三分、 衽ならば 一分五厘、 絹  
 ならば 四分乃至五六分、 衽ならば 二分五厘になして、衽  
 綿を少々入るゝなり。

○男服綿入重ねの上着より下着の長さをつめる寸法。

但幾枚重りても此割合にて短縮すべし。

袖丈 三分、 袖口上着と同じ、 袖幅 一分、 袖付 三分、  
 人形上着と同じ。  
 身丈 一分、 衽肩 一分、 後幅 一分、 前幅 二分、 衽幅  
 上着と同じ、 衽丈 三分、(左右にて六分)、 行 一分、 衽幅上  
 着と同じ、 裾下上着と同じ。  
 但上着の地質より下着の地質薄くしてだれる時は、身丈を多  
 くつめる、これは其布に依て定むるなり。